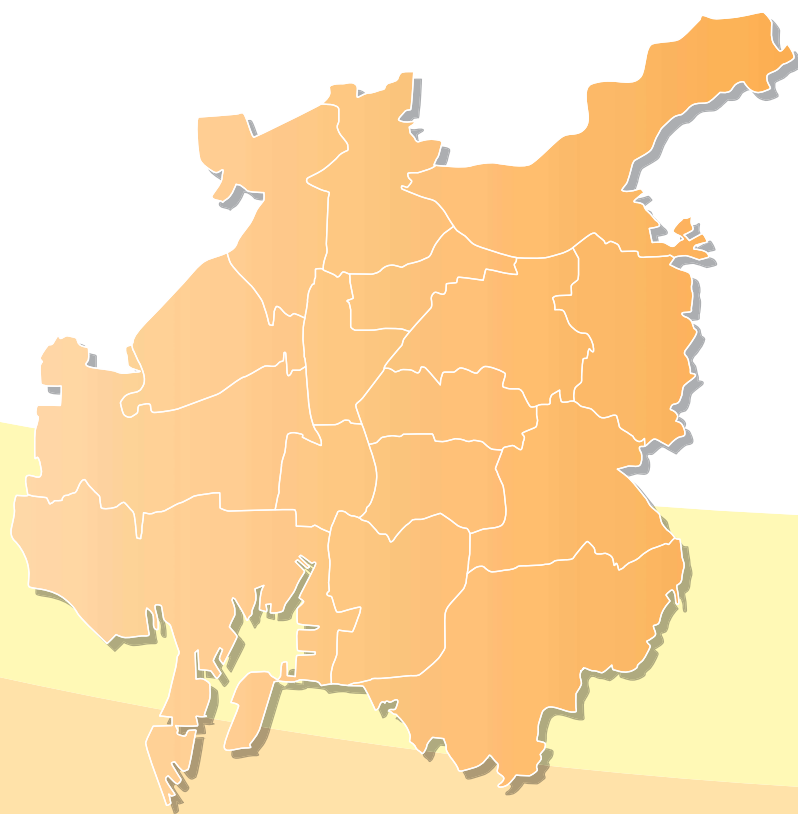


健康なごやプラン21

(第2次)

－中間評価－

～笑って、歩いて、健康づくりは まちづくり～



名古屋市

本市では、平成25年に健康増進法に基づく健康増進計画として「健康なごやプラン21（第2次）」を策定し、すべての市民が健康で心豊かに生活できる社会の実現に向けて、生活習慣病の予防、健康寿命の延伸、生活の質の向上を図るとともに、安心して子どもを産み、ゆとりを持って健やかに子育てできる環境づくりの推進に取り組んでいます。

「健康なごやプラン21（第2次）」の計画期間は平成25年度から平成34年度の10年間としており、平成29年度は中間評価として、市民アンケート調査等による現状の把握と、今後の取り組みの方向性をとりまとめました。

目 次

I 健康なごやプラン 21（第2次）とは

1 位置づけ	2
2 目的	2
3 取り組みの方向	2
4 計画期間	2
5 推進体制	2
6 中間評価の方法	4

II 中間評価

1 名古屋市の現状	6
2 評価及び今後の取り組みの方向性	11
3 分野別の評価	13
(分野1) 栄養・食生活	13
(分野2) 身体活動・運動	16
(分野3) 休養・こころの健康づくり	19
(分野4) たばこ	20
(分野5) アルコール	21
(分野6) 歯の健康	22
(分野7) 糖尿病	24
(分野8) 循環器疾患	26
(分野9) がん	28
(分野10) 予防接種	31
(分野11) 思春期の保健対策の強化と心身両面の健康づくり	32
(分野12) 妊娠・出産に関する安全性の確保と健康づくり	33
(分野13) 小児保健水準の向上	34
(分野14) 子どものこころの安らかな発達と育児不安の軽減	35
(参考指標) 都市（まち）環境の健康	37

III 資料編

各分野の指標に係る現状値のデータソース一覧	40
健康に関する市民アンケートの集計結果	42
子育てに関するアンケートの集計結果	51

I

健康なごやプラン21 (第2次) とは

1. 位置づけ

- 健康増進法に基づく本市の健康増進計画として、国が策定した「健康日本21 (第2次)」及び母子保健分野の「健やか親子21」の方向性を踏まえて策定しています。

2. 目的

- すべての市民が健康で心豊かに生活できる社会をめざし、生活習慣の改善による生活習慣病の予防、健康寿命の延伸、生活の質の向上を図ります。
(平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加)
- すべての親と子が健やかに暮らせる社会をめざし、安心して子どもを産み、ゆとりを持って健やかに子育てできる環境づくりの推進を図ります。

3. 取り組みの方向

すべての市民が健康で心豊かに生活できる社会の実現を目指して、5つの視点での働きかけと、14分野ごとの「目標」と「指標」を設定し、「市民のとりくみ」、「市のとりくみ」等を示しています。

4. 計画期間

計画期間は、平成25年度から34年度の10年間です。

5. 推進体制

学識経験者、保健・医療関係者、職域・地域関係者及び市民委員等で構成する「健康なごやプラン21推進会議」を設置し、情報交換や健康づくりの取り組みに関する意見交換を行いながら推進しています。

すべての市民が健康で心豊かに生活できる社会の実現

健康寿命の延伸

生活の質の向上

生活習慣病の予防

子育て家庭の支援

5つの視点
での働きかけ

- 1 生活習慣病の発症予防及び重症化予防の推進
- 2 社会環境の改善
(多様な活動主体との連携、一人ひとりの社会活動への参加)
- 3 世代に応じた生活習慣の改善
- 4 予防医療の推進 (予防接種の推進)
- 5 母子保健の推進

分野 (14分野)

【生活習慣の改善及び生活習慣病予防 (10分野)】

- ①栄養・食生活 ②身体活動・運動 ③休養・こころの健康づくり ④たばこ
⑤アルコール ⑥歯の健康 ⑦糖尿病 ⑧循環器疾患 ⑨がん ⑩予防接種

【母子保健 (4分野)】

- ⑪思春期の保健対策の強化と心身両面の健康づくり
⑫妊娠・出産に関する安全性の確保と健康づくり
⑬小児保健水準の向上
⑭子どものこころの安らかな発達と育児不安の軽減

6. 中間評価の方法

(1) 評価の趣旨

平成29年度は、計画期間の中間年度にあたることから、目標・指標の進捗状況を把握し、評価するとともに、課題を分析し、今後の取り組みの方向性をまとめました。

(2) 評価の方法

平成28年度に実施した「健康に関する市民アンケート」^{注1}や「子育てに関するアンケート」^{注2}のほか、関連事業の実績等により、各分野の指標の進捗状況を把握し、AからEの区分で評価しました。

A	順調	計画策定時の値より改善しており、目標値に向けて順調に進んでいる、または目標値を達成しているもの
B	おおむね順調	計画策定時の値より改善しており、おおむね順調に進んでいるもの
C	やや遅れ	計画策定時の値より改善していない（横ばい）、または改善しているが、目標値に向けて遅れているもの
D	遅れ	計画策定時の値よりも悪化しているもの
E	評価困難	設定した指標又は把握方法が異なる等の理由により評価が困難であるもの

(3) 目標・指標の見直し

市の事業内容や国の制度等の変更、社会情勢の変化等により、見直しの必要が生じた目標・指標については、適切に見直しを行いました。

また、その他の関連する計画等により目標・指標を設定している事項については、整合性を図りながら、必要に応じて再設定しました。

注1：「健康に関する市民アンケート」平成28年11月～12月実施

調査対象者：市内在住の16歳以上の方 10,000人

回答者数：5,312人

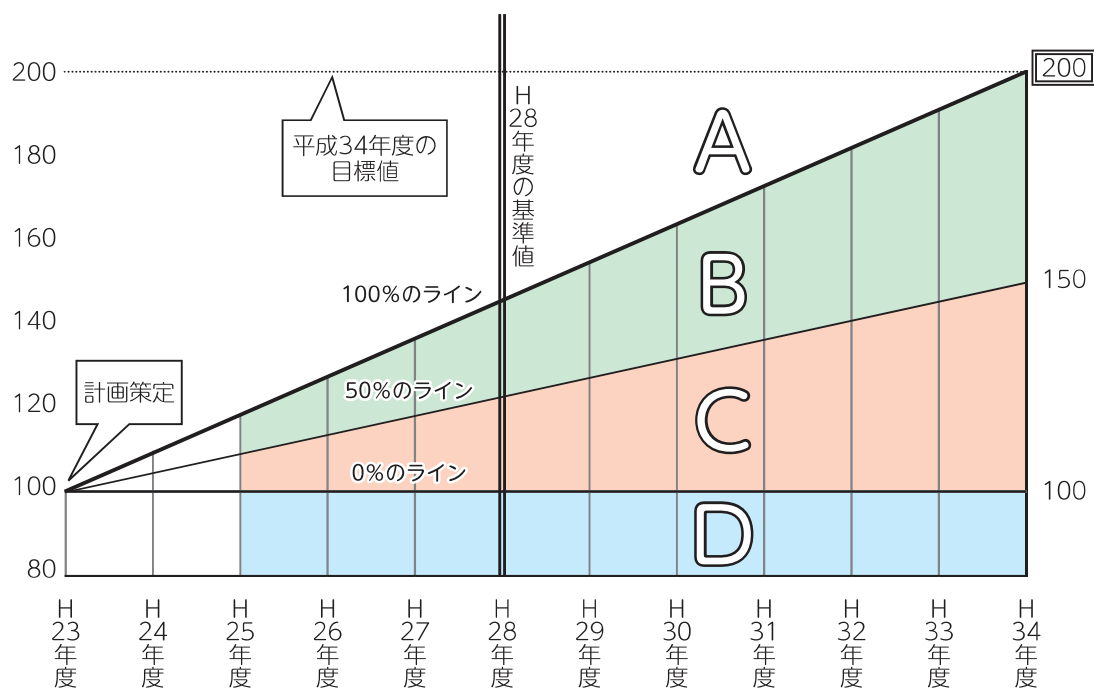
注2：「子育てに関するアンケート」平成28年10月実施

調査対象者：3（4）か月児、1歳6か月児、3歳児の各健康診査対象者 計5,324人

回答者数：計4,590人

【進捗状況のイメージ図】

※計画策定時の値＝100、平成34年度の目標値＝200の場合



Ⅱ 中間評価

1. 名古屋市の現状

(1) 平均寿命と健康寿命

ア. 平均寿命

平成28年の本市の平均寿命は、男性が80.75年、女性が86.76年で、過去最高を記録し、前年との比較では、男性で0.22年、女性で0.41年の増加となっています。

(単位：年)

区 分		平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
平均寿命	男	79.01	79.21	79.59	79.70	79.97	80.53	80.75
	女	86.27	85.89	86.07	86.14	86.25	86.35	86.76

注 1：平成22年から平成27年の平均寿命は、名古屋市健康福祉年報（人口動態統計編）より

注 2：平成28年の平均寿命は、平成29年12月25日に公表した値

イ. 健康寿命

健康寿命とは、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」のことで、健康なごやプラン21（第2次）では、国民生活基礎調査のデータを基に3年ごとに算定される「日常生活に制限のない期間の平均」を主指標に、「自分が健康であると自覚している期間の平均」を副指標に設定するとともに、毎年の経年比較が可能な、本市介護保険のデータに基づく「日常生活動作が自立している期間の平均」を副指標に加えています。

(単位：年)

区 分		平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
日常生活に制限のない期間の平均	男	70.42	—	—	70.88	—	—	—
	女	73.64	—	—	74.24	—	—	—
自分が健康であると自覚している期間の平均	男	70.38	—	—	70.79	—	—	—
	女	73.08	—	—	74.01	—	—	—
日常生活動作が自立している期間の平均	男	77.73	77.89	78.30	78.39	78.65	79.14	79.36
	女	82.89	82.53	82.90	82.97	83.17	83.20	83.58

注：「日常生活に制限のない期間の平均」及び「自分が健康であると自覚している期間の平均」の平成28年の値は、平成30年度以降に算定予定

ウ. 平均寿命と健康寿命の差

平均寿命と健康寿命との差は、日常生活に制限のある「不健康な期間」を意味するとされており、プランでは、その差を短縮するため、「平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加となるように、健康寿命の延伸の実現をめざす」としています。

平成28年の健康寿命（日常生活動作が自立している期間の平均）は、男性が79.36年、女性が83.58年で、前年と比較すると、男性が0.22年、女性で0.38年の増加となっており、平均寿命を上回る増加にはなっていない状況です。

また、平成22年と平成28年を比較すると、平均寿命と健康寿命との差は、男性は広がっていますが、女性は短縮しています。

(単位：年)

区 分		平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
平均寿命と 健康寿命の差	男	1.28	1.32	1.29	1.31	1.32	1.39	1.39
	女	3.38	3.36	3.17	3.17	3.08	3.15	3.18

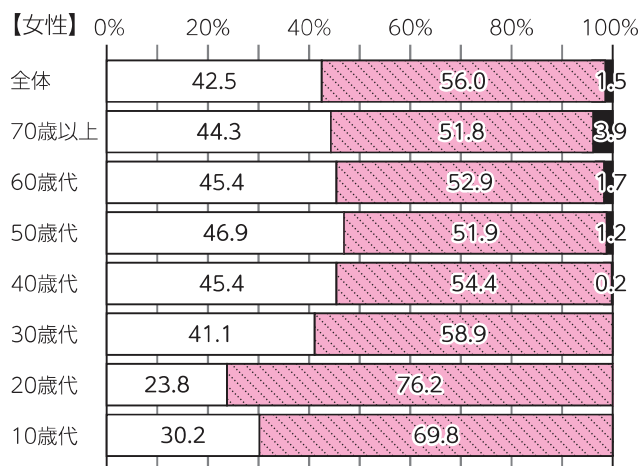
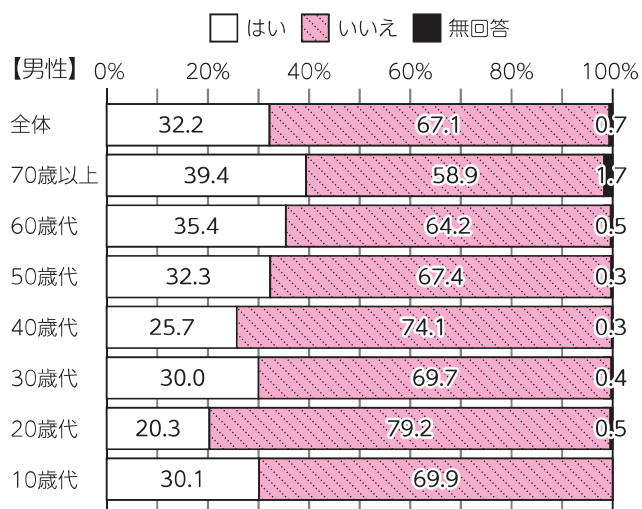
注：健康寿命は、「日常生活動作が自立している期間の平均」

(2) 健康に関する市民アンケート 結果の概要

野菜を1日350g以上食べるようにしている人の割合

平成28年度の健康に関する市民アンケート（以下「市民アンケート」）の結果によると、野菜を1日350g以上食べるようにしている人の割合は、男性が32.2%、女性が42.5%で、20歳代男女が、他の世代と比べて割合が低くなっています。

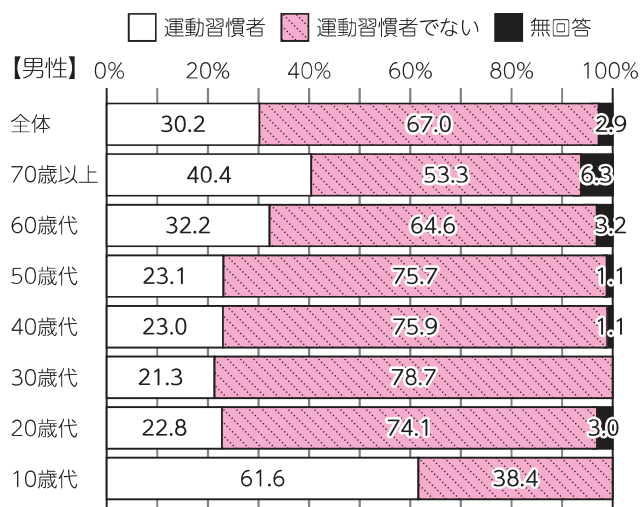
また、平成28年の国民健康・栄養調査の結果では、1日の野菜摂取量の全国の平均値が、男性（20歳以上）で284g、女性（20歳以上）で270gに対して、愛知県の男性は229g（調査46都道府県中46位）、女性は238g（同44位）と低くなっています。



運動習慣のある人の割合

市民アンケートの結果によると、運動習慣のある人（週2回以上、1回あたり30分以上の運動を1年以上継続している人）の割合は、男性で30.2%、女性で24.3%となっています。

回答者の約9割が学生である10歳代を除くと、男性、女性ともに年齢が低くなるにつれ、運動習慣のある人の割合が少なくなっています。



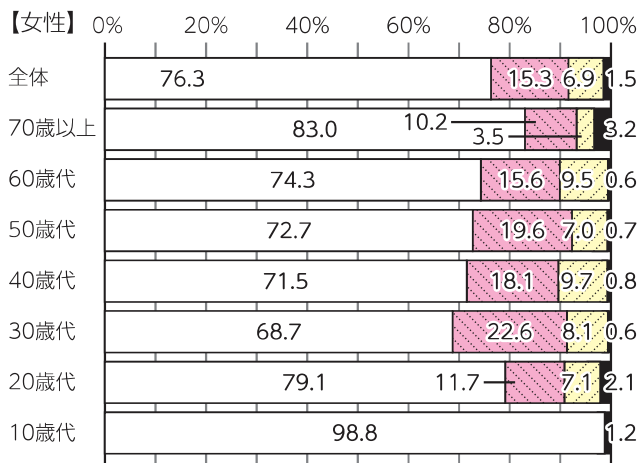
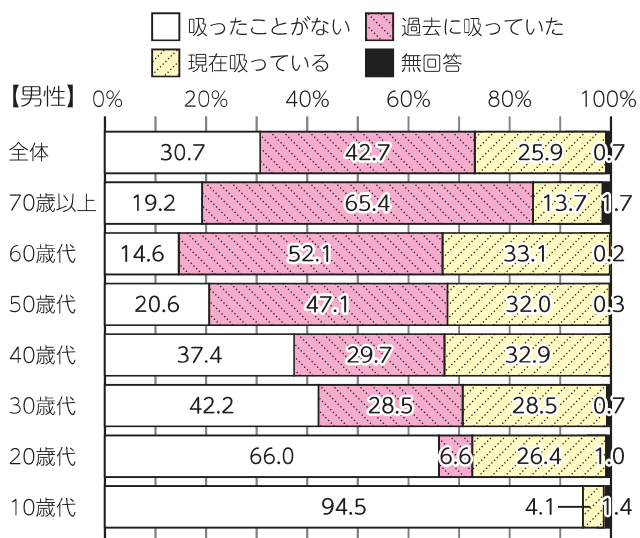
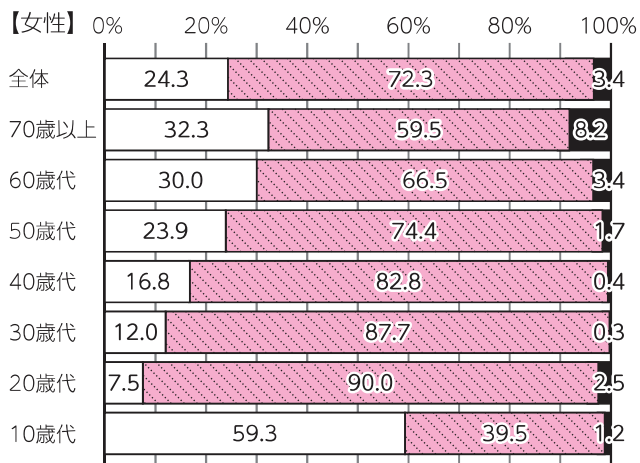
また、平成28年の国民健康・栄養調査の結果では、運動習慣のある人の割合の全国の平均値は、男性（20歳以上）で35.1%、女性で27.4%となっており、市民アンケート結果と比較した場合では、本市の男性、女性ともに、全国平均値より低くなっています。

喫煙の状況

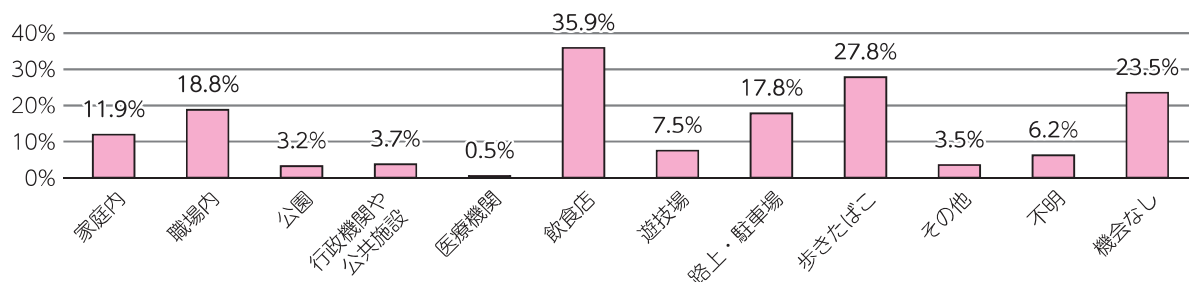
市民アンケートの結果によると、現在喫煙している人の割合は、男性で25.9%、女性で6.9%となっています。

これは、平成28年の国民健康・栄養調査結果における「習慣的に喫煙している人の割合」の全国平均値である男性（20歳以上）の30.2%、女性（20歳以上）の8.2%よりも、低い割合となっています。

また、約7割の人が、最近1ヶ月以内に受動喫煙（他人が吸っているたばこの煙を吸う）の機会があったと回答し、その場所としては「飲食店」、「歩きたばこ」、「職場内」の割合が高くなっています。



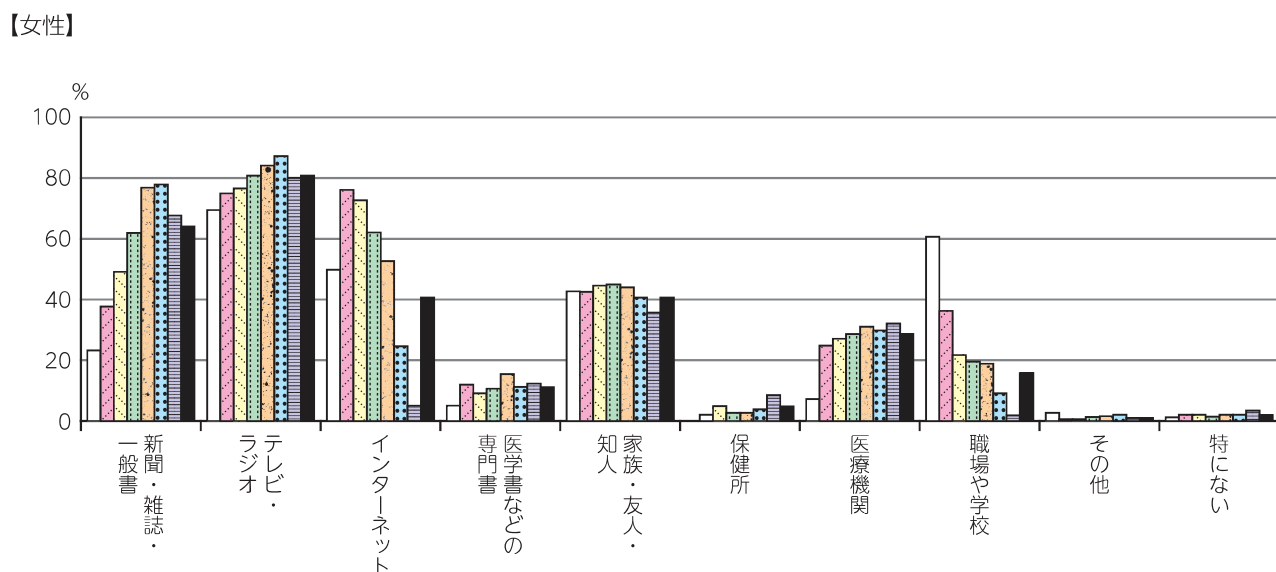
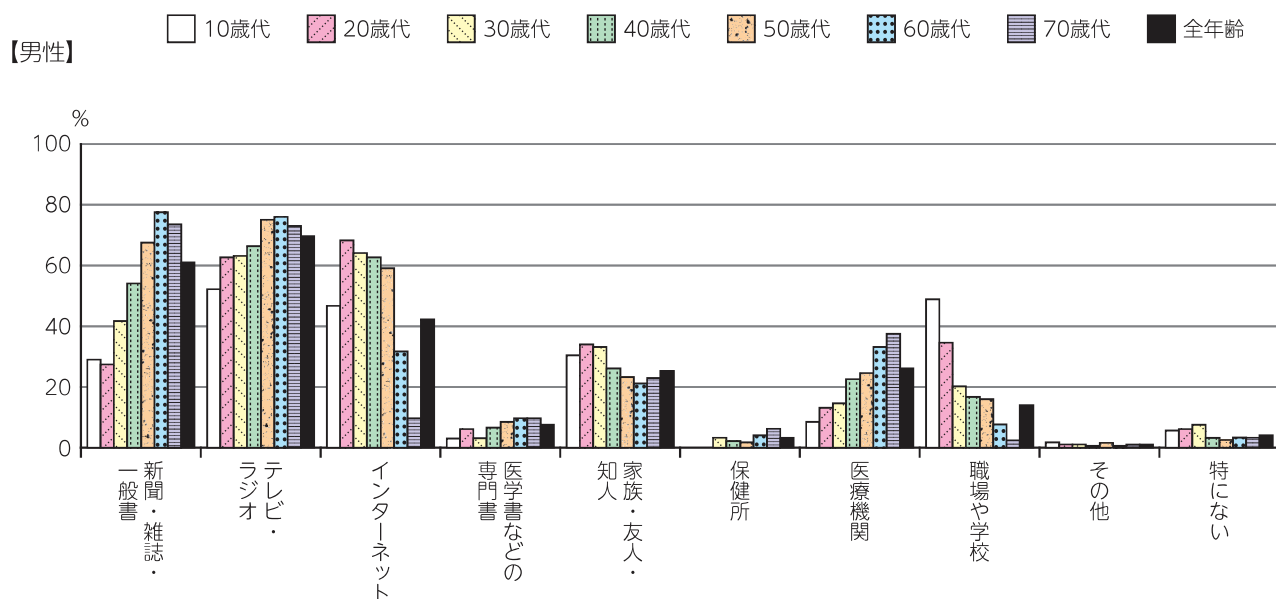
「1ヶ月以内の受動喫煙の機会」



健康に関する情報や知識を入手する手段

市民アンケートの結果によると、「健康に関する情報や知識をどこから得ているか」の質問に対して、「テレビ・ラジオ」と回答した人の割合は、男性で70.1%、女性で81.0%と、ともに最も高く、次いで、男性では「新聞・雑誌・一般書」、「インターネット」、女性では「新聞・雑誌・一般書」、「家族・友人・知人」の割合が高くなっています。

年代別では、すべての年代を通して「テレビ・ラジオ」と回答した人の割合が高いほか、50歳代以上では「新聞・雑誌・一般書」、20歳代から40歳代は「インターネット」の割合が高くなっています。



2. 評価及び今後の取り組みの方向性

(1) 進捗状況の評価の概要

分 野		指標数	進捗状況				
			A 順調	B おおむね順調	C やや遅れ	D 遅れ	E 評価困難
生活習慣の改善及び生活習慣病予防	① 栄養・食生活	17	1			8	8
	② 身体活動・運動	14	3	1	1	6	3
	③ 休養・こころの健康づくり	5	2	1	1	1	
	④ たばこ	7	1	3	1	2	
	⑤ アルコール	5	3		1	1	
	⑥ 歯の健康	12	6	1	3	2	
	⑦ 糖尿病	7	4		3		
	⑧ 循環器疾患	11	4		7		
	⑨ がん	7	2	3	2		
	⑩ 予防接種	2	2				
母子保健	⑪ 思春期の保健対策の強化と心身両面の健康づくり	8	4		1	1	2
	⑫ 妊娠・出産に関する安全性の確保と健康づくり	4	1	1	2		
	⑬ 小児保健水準の向上	4			2	1	1
	⑭ 子どものこころの安らかな発達と育児不安の軽減	8		6	1	1	
計		111	33	16	25	23	14

プランで掲げた14分野の課題に対応する111指標のうち、49指標（44％）で、現状値が策定時の値より改善し、目標値に向けて「順調」または「おおむね順調」に進捗していると評価しました。

しかしながら、進捗状況が十分でなく、または悪化しているために、「遅れ」または「やや遅れ」と評価した指標も48指標（43％）あったことから、平成34年度の目標達成に向けては、さらなる取り組みの推進が必要です。

特に「栄養・食生活」、「身体活動・運動」といった、日常生活の中で、習慣として取り組む健康関連行動の分野において、進捗が遅れている指標が多く、検診等の事業の充実を図ってきた「歯の健康」や「がん」の分野は比較的、順調に進捗している指標が多い状況でした。

また、14指標（13％）については、計画策定時に設定した指標の把握方法等が現在と異なるなどの理由により、評価が困難となっていることから、目標・指標の見直しを行うこととしました。

(2) 今後の取り組みの方向性

○ 市の取り組みや市民の取り組みについての一層の普及・啓発

○ 市民一人ひとりが健康への関心や意識を高め、具体的な行動につなげることができるような働きかけ

健康に関する情報については、届けたい方の世代や特徴に合わせた内容と手段によって発信するとともに、情報を入手する手段が少ない方や健康に無関心な方にも情報が行き渡るようにしていかなければなりません。

多くの市民の方に周知できるように、インターネットやマスメディアの活用、地域や職域の団体と連携するなど、情報発信の手段を工夫し、効果的な普及啓発に取り組んでまいります。

○ 新たな課題への対応

健康増進法の改正による受動喫煙防止対策は、「望まない受動喫煙」をなくし、受動喫煙による健康への影響が大きい子どもや患者等に特に配慮することとし、施設の類型や場所ごとに禁煙措置や喫煙場所の特定を行う等の新たな対策を講じることが予定されています。

本市においても、制度の周知とともに、国や県、施設の管理者等と連携を図りながら、効果的な受動喫煙防止対策を推進します。

また、高齢化やパソコン、スマートフォンを多用している現代社会では、VDT症候群や緑内障等の眼科疾患の予防についても新たな課題となっており、早期発見や予防につなげるため、目の健康に関する取り組みを推進します。



**受動喫煙の
ない社会を!**

「受動喫煙のない社会を目指して」ロゴマーク

このように、既存の取り組みにとどまることなく、新たな課題についても、国や社会の動向を注視しながら、市民一人ひとりの健康意識や行動につなぐ啓発の推進と合わせて、健康づくりに取り組みやすい環境の整備を検討します。

3. 分野別の評価

(分野1) 栄養・食生活

ア. 目標の進捗状況と評価

A	1	B	0	C	0	D	8	E	8	計	17
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

目標及び指標				策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
適正体重の 子どもを増 やす	全出生数中の低出生体重児（2,500g未満）の割合			10.0% (23年)	10.1% (27年)	減少傾向	D	
	肥満傾向（肥満度20%以上）にある子ども（小学生）の割合			5.7%	5.9%		D	
適正体重を 維持してい る市民を増 やす	適正体重を 維持してい る人の割合	肥満者 の割合	20～60 歳代男性	25.1%	27.6%	15%以下	D	
			40～60 歳代女性	12.9%	15.2%	10%以下	D	
		20歳代女性のやせの人の割合		20.2%	21.3%	15%以下	D	
朝食を毎日 食べている 市民を増や す	朝食を毎日 食べている 人の割合	小学5年生		89.1% (22年度)	82.0%	全国平均 (27年度)	E	変更
		小学6年生		—	85.2%	90%以上 (32年度)	新	
		中学2年生		81.9% (22年度)	77.6%	全国平均 (27年度)	E	変更
		中学3年生		—	81.1%	85%以上 (32年度)	新	
		20歳代	男性	42.3% (22年度)	49.7%	60%以上 (27年度)	E	変更
						80%以上 (32年度)	新	
		20歳代	女性	50.5% (22年度)	64.4%	70%以上 (27年度)	E	変更
						90%以上 (32年度)	新	
		30歳代	男性	58.0% (22年度)	61.7%	70%以上 (27年度)	E	変更
						85%以上 (32年度)	新	
		30歳代	女性	67.3% (22年度)	76.8%	80%以上 (27年度)	E	変更
						90%以上 (32年度)	新	

目標及び指標		策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
適切な量と質の食事をする市民を増やす	栄養バランスのとれた適量の食事をほとんど毎日とっている人の割合（1日のうち少なくとも1食）	55.4%	52.5%	65%以上	D	変更
	野菜をたくさん食べるようにしている人の割合	76.9%	—	85%以上	E	
	野菜を1日350g以上食べるようにしている人の割合	—	37.8%	45%以上	新	
	果物を食べるようにしている人の割合	58.6%	—	70%以上	E	変更
	果物を1日200g程度食べるようにしている人の割合	—	33.9%	40%以上	新	
	塩分を控えるようにしている人の割合	63.2%	56.4%	75%以上	D	
低栄養傾向の高齢者を減らす	65歳以上のBMI20以下の人の割合	24.1%	21.7%	22%以下	A	
輪（話）食をする市民を増やす	家族等の誰かと一緒に食事をする人の割合（1週間のうち3日以上家族や友人等と一緒に食事をする市民の割合）	82.7% (22年度)	79.0% (26年度)	90%以上 (27年度)	D	変更
				90%以上 (32年度)	新	

- ・「適正体重」や「適切な量と質の食事」に関する指標の多くは、目標値に対し遅れています。
- ・「朝食を毎日食べている人の割合」、「家族等の誰かと一緒に食事をする人の割合」は、個別計画との連携を図る必要があるため、平成28年3月に策定した名古屋市食育推進計画（第3次）（計画期間：28年度～32年度）の指標及び目標値を設定します。（現在は名古屋市食育推進計画（第2次）の指標及び目標値（27年度）を設定している。）なお、「朝食を毎日食べている人の割合」の目標値については、菓子パン、果物等の摂取を含みます。
- ・「野菜をたくさん食べるようにしている人の割合」の目標・指標の見直しについては、具体的な必要量を提示することで1日の目標が具体的になることから、指標を「野菜を1日350g以上食べるようにしている人の割合」とします。目標値は、現状値の37.8%を基準として、今後の啓発による効果等を勘案し、45%以上とします。
- ・「果物を食べるようにしている人の割合」の目標・指標の見直しについては、具体的な必要量を指標とすることで目標が具体的になることから、指標を「果物を1日200g程度食べるようにしている人の割合」とします。目標値は、現状値の33.9%を基準として、今後の啓発による効果等を勘案し、40%以上とします。
- ・「65歳以上のBMI20以下の人の割合」は、目標値に対し順調に改善しています。

イ. 今後の課題

- ・適正体重に関する指標については、全て策定時から改善していないため、現行施策をはじめ、一層の啓発が必要です。
- ・「栄養バランスのとれた適量の食事をほとんど毎日とっている人の割合」、「塩分を控えるようにしている人の割合」及び「家族等の誰かと一緒に食事をする人の割合」については、現状値が目標値に達していないため、啓発等による一層の取り組みが必要です。
- ・野菜や果物の1日の必要量を摂取している市民の割合は少なく、平成28年国民健康・栄養調査の結果においても、愛知県の野菜摂取量は、下位であることから、摂取量の増加に向けて具体的な必要量を示した目標・指標を設定し、さらなる啓発が必要です。

市の主な取り組み

- ・ウェブサイト「なごや食育ひろば」による情報提供や、自主的に食育活動に取り組む「食育応援隊」等との協働によるイベント等を通じた健全な食生活に関する知識の普及啓発
- ・飲食店や給食施設等において栄養成分表示等の情報提供を行う「食育推進協力店」の登録推進
- ・保健所における栄養相談・指導、学校における食育の推進
- ・団体、企業、大学等との協働による地域における食育活動の推進

❖ 野菜・果物摂取の啓発マグネット ❖

成人の場合、野菜を1日350g以上、果物を1日200g程度食べると、からだに必要なビタミン、ミネラル、食物繊維をとることができます。

イベントでは、冷蔵庫に貼れるマグネットなどの啓発グッズや啓発チラシなどを活用して、栄養・食生活の改善に取り組んでいます。



野菜を1日350g以上食べましょう！				
野菜の目安量				
アスパラガス 1本25g	かぶ 1個120g	かぼちゃ 1個1kg	キャベツ 1個12kg 葉1枚50g	
きゅうり 1本100g	ごぼう 1本200g	大根 1本12kg 1cm30g	玉ねぎ 1個200g	
トマト 1個150g	なす 1個100g	にんじん 1本150g	ねぎ 1本150g	
白菜 1株3kg 葉1枚100g	ピーマン 1個30g	ブロッコリー 1株300g	ほうれん草 1束200g	
ミニトマト 1個10g	もやし 1袋250g	レタス 1個300g 葉1枚30g	れんこん 1節250g	

果物を1日200g程度食べましょう！				
果物の目安量(可食部)				
いちご 1個11g	いちじく 1個60g	オレンジ 1個110g	柿 1個180g	
キウイフルーツ 1個100g	きんかん 1個90g	グレープ フルーツ 1個320g	さくらんぼ 1個5g	
すいか 1個3kg 1/8個380g	なし 1個210g	パイナップル 1個1kg 1/8個140g	バナナ 1本100g	
びわ 1個35g	ぶどう(巨峰) 1房240g 1房90g	ぶどう (デラウェア) 1房90g	みかん 1個100g	
桃 1個170g	洋なし 1個150g	りんご 1個200g	メロン 1個500g 1/8個60g	

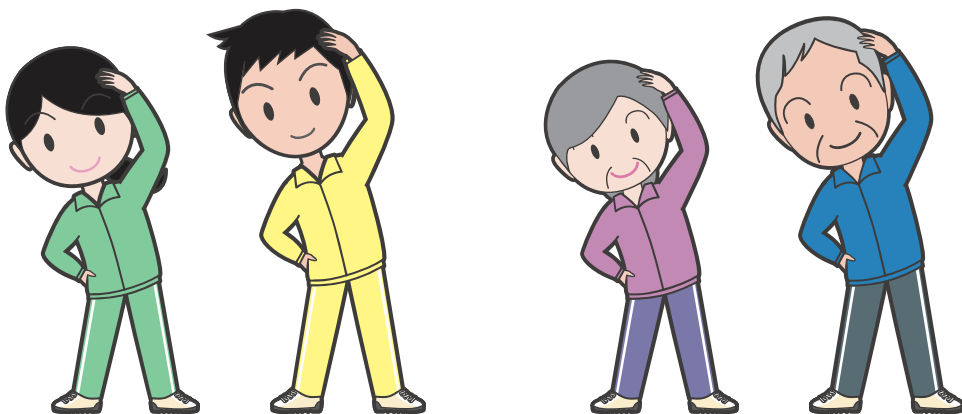
(分野2) 身体活動・運動

ア. 目標の進捗状況と評価

A	3	B	1	C	1	D	6	E	3	計	14
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

目標及び指標				策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
日常生活での歩数を増やす	一日の歩数	20～64歳	男性	7,383歩	8,452歩 (27年)	8,500歩	A	
			女性	6,753歩	7,299歩 (27年)	8,400歩	B	
		65歳以上	男性	5,534歩	6,366歩 (27年)	7,000歩	A	
			女性	5,323歩	4,049歩 (27年)	6,900歩	D	
運動習慣のある市民を増やす	週に2回以上、1回30分以上の運動を1年以上継続している人の割合	20～64歳	男性	23.6%	23.6%	34%	C	
			女性	18.9%	17.9%	29%	D	
		65歳以上	男性	43.5%	38.3%	54%	D	
			女性	33.9%	31.6%	44%	D	
	週に1回以上、運動・スポーツを実施している成人の割合			58.4%	56.9%	65%	D	
	週に3日以上運動・スポーツを実施している児童の割合	小学5年生	男子	62.4% (22年度)	—	増加傾向	E	変更
			女子	38.2% (22年度)	—		E	
	1週間の総運動時間が60分未満の子ども（小学校5年生と中学校2年生）の割合			—	13.4%	12% (30年度)	新	
要介護状態の高齢者の割合の伸び率を下げる	介護保険第1号被保険者における要介護・要支援者の割合			16.7%	18.3%	15.9%以下 (26年度)	D	変更
						21.5%以下	新	
骨粗しょう症検診の受診率を向上させる	骨粗しょう症検診受診率（名古屋市実施分）			6.0% (5,932人)	19.5% (19,532人)	18% (18,000人)	A	変更
						25% (25,000人)	新	
認知機能低下ハイリスク高齢者の把握者数を増やす	介護予防チェックリストにおける「認知症予防・支援」該当者数			16,713人	—	年々増加	E	削除
認知症高齢者の割合の伸び率を下げる	要介護・要支援認定「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の高齢者の割合			—	9.9%	12%以下	新	追加

- ・「一日の歩数」については、男性は20～64歳、65歳以上の各区分で目標に向けて改善しているが、女性は、20～64歳の区分は策定時より改善しているものの、目標達成にはさらなる改善が必要であり、65歳以上の区分では、策定時の値を下回っています。
- ・「運動習慣」に関する指標については、ほとんどが策定時の値を下回っており、改善していません。
- ・「週に3日以上運動・スポーツを実施している児童の割合」については、国の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における調査項目「週に3日以上運動・スポーツを実施している児童の割合」がなくなったことから、現在の調査項目にあり、本市の教育振興基本計画においても成果指標としている「1週間の総運動時間が60分未満の子どもの割合」に改定します。また、同計画の平成30年度の目標値である小学校5年生と中学校2年生を合わせた平均値の12%を目標値とします。
- ・「介護保険第1号被保険者における要介護・要支援者の割合」については、平成26年度に15.9%以下を目標値としていましたが、平成30年度からの「第7期名古屋市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」との整合性を図り、認定者数の割合を推計値（21.5%）より超えないことを目指した目標値とします。
- ・「骨粗しょう症検診受診率」については、無料クーポン券の送付などの効果により、目標値に達しているため、過去の受診状況を踏まえ、25%を目標値とします。
- ・「認知機能低下ハイリスク高齢者の把握者数を増やす」の目標については、指標を「介護予防チェックリストにおける「認知症予防・支援」該当者数」としてきましたが、当該目標・指標に関連した事業が平成27年度の国の制度改正により廃止されたことから、新たな目標を「認知症高齢者の割合の伸び率を下げる」とし、「要介護・要支援認定「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の高齢者の割合」を指標とします。



イ. 今後の課題

- ・「市民が主体的・積極的に運動に取り組むことができるよう、インセンティブ事業（健康マイレージ事業）等の動機づけとなる取り組みと、地域や職域の団体等と連携し、身近な地域での取り組みや、働く世代が取り組みやすい健康づくりの推進が必要です。
- ・高齢者が自立した生活を送れるよう、介護予防・認知症予防について、具体的な取り組み方法やその効果を理解していただくとともに、自発的・継続的に取り組めるよう活動場所を充実するなど、一層の推進が必要です。
- ・高齢者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営めるよう支援していくことや要介護状態等の重度化防止を図るため、介護予防・生活支援サービス事業を推進していくとともに、住民主体の集いの場への専門職の派遣や地域分析を活用するなどして、効果的な介護予防を推進していくことが必要です。

市の主な取り組み

- ・保健所における健康教育
- ・自主的な健康づくりや健診受診等にポイントが付与する事業（なごや健康マイレージ、国民健康保険健康ポイント事業）の実施
- ・市民参加大会やスポーツ・ライフ月間（10月1日～11月30日）のイベント等を通じた、スポーツに親しむきっかけづくり
- ・体力アップ推進校、一校一運動校等の取り組みを通じた子どもの頃からの運動の習慣づけ
- ・保健所における教室や、保健環境委員会と連携した地域におけるロコモティブシンドローム予防の推進
- ・いきいき教室や福祉会館認知症予防教室等の介護予防・認知症予防の取り組み
- ・協力医療機関における骨粗しょう症検診の実施

❖ なごや健康マイレージ ❖

愛知県の「あいち健康マイレージ」と協働し、市民の自主的な健康づくりの取り組みに対して特典カード「あいち健康づくり応援カード「MyCa（まいか）」の交付等により、健康づくりのきっかけの提供と継続を推進しています。



(分野3) 休養・こころの健康づくり

ア. 目標の進捗状況と評価

A	2	B	1	C	1	D	1	E	0	計	5
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

目標及び指標			策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
睡眠を十分に取れていない人を減らす	睡眠を十分に取れていない人の割合		33.7%	39.2%	30%以下	D	
悩みを抱えず、周りの人や専門家に相談できるような考え方を浸透させ、相談機関の周知を図る	深刻な悩みを抱えたとき、誰かに（どこかに）相談する人の割合		73.4% (22年度)	80.5% (27年度)	80%以上	A	
	こころの病気に関する行政の相談窓口があることを知っている人の割合	保健所	23.4% (22年度)	32.0%	50%以上	B	
		精神保健福祉センター	10.5% (22年度)	12.8%		C	
自殺者数（人口10万人当たり）を減らす	自殺者数（人口10万人当たり）		21.1 (23年)	14.4	13以下 (30年)	A	

- ・「睡眠を十分にとれていない人の割合」は、策定時の値よりも増加しています。
- ・「深刻な悩みを抱えたとき、誰かに（どこかに）相談する人の割合」は目標値を達成しています。また、「自殺者数（人口10万人当たり）」は、減少傾向にあり目標値を達成できる見込みです。
- ・「こころの病気に関する行政の相談窓口があることを知っている人の割合」は、策定時の値から改善しているものの、現在のペースで推移した場合、目標値の達成は困難です。

イ. 今後の課題

- ・休養は、心身の健康や生活の質の向上のために重要な要素のひとつであり、直近値が目標値に達していないため、啓発等による一層の取り組みが必要です。
- ・こころの病気に関する相談窓口の認知度を向上させるため、一層の取り組みが必要です。
- ・自殺者数は減少しているものの、依然として深刻な状況にあり、中長期的な視点に立って継続的に対策を実施する必要があります。

市の主な取り組み

- ・こころの健康フェスタ、ウェブサイト「こころの絆創膏」等を通じた啓発
- ・保健所における精神保健福祉相談、こころの健康（夜間・土日）無料相談
- ・精神保健福祉センターにおける専門相談、うつ病家族教室等

(分野4) たばこ

ア. 目標の進捗状況と評価

A	1	B	3	C	1	D	2	E	0	計	7
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

目標及び指標			策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
成人の喫煙率を下げる	成人の喫煙率	男性	25.7%	26.6%	19.4%	D	
		女性	8.1%	7.2%	6%	B	
		全体	16.0%	15.8%	12%	C	
未成年者の喫煙をなくす	喫煙する未成年者の割合	男性	0.0%	4.1%	0%	D	
		女性	2.6%	0.0%		A	
妊娠中の喫煙をなくす	妊娠中に喫煙する人の割合		4.7%	2.5%	0%	B	
健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う施設数を増やす	建物内全面禁煙実施施設数		2,321施設	3,246施設	5,000施設	B	

- ・「成人の喫煙率」は、女性はおおむね順調に減少していますが、男性は減少していません。全体では若干減少し、策定時の値から改善しているものの、現在のペースで推移した場合、目標値の達成は困難です。
- ・「建物内全面禁煙実施施設数」は、策定時の値より増加していますが、現在のペースで推移した場合、目標値の達成は困難です。

イ. 今後の課題

- ・成人の喫煙率の目標達成に向け、男性の喫煙率低下に向けた取り組みが必要です。平成28年度の「健康に関する市民アンケート」によると30歳代の男性の喫煙率は減少しているものの、男性のその他の年代では減少が見られず、特に60歳代は増加したため、高齢世代に向けた禁煙の啓発とあわせて、喫煙が習慣化する前の若い世代への啓発を強化する必要があります。
- ・平成28年度の同アンケートによると、たばこと健康を考える上で有効だと思う取り組みの1位が「多数の人が集まる施設の禁煙・分煙」(73.0%)となっていることから、建物内全面禁煙実施施設認定事業について、従来の市の公式ウェブサイトによる広報とあわせて、他の広報媒体も活用した事業周知と積極的な登録勧奨の推進が必要です。
- ・国の受動喫煙防止対策の考え方を踏まえた、企業や店舗への禁煙啓発を兼ねた積極的な働きかけと、保険者等との連携した取り組みの実施が必要です。

市の主な取り組み

- ・保健所における禁煙者個別健康教育、学校における防煙教育
- ・大学生向け啓発リーフレットの配布、「禁煙の日」(毎月22日)街頭キャンペーンの実施
- ・建物内全面禁煙実施施設の認定

(分野5) アルコール

ア. 目標の進捗状況と評価

A	3	B	0	C	1	D	1	E	0	計	5
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

目標及び指標			策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
未成年者の飲酒をなくす	飲酒する未成年者の割合	男性	5.0%	1.4%	0%	A	
		女性	1.3%	1.2%		C	
生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人を減らす	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人（1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の人）の割合	男性	21.6%	18.9%	18.4%	A	
		女性	9.6%	13.1%	8.2%	D	
妊娠中の飲酒をなくす	妊娠中に飲酒する人の割合		3.7%	1.3%	0%	A	

- ・「飲酒する未成年者の割合」については、男女ともに減少しているものの、目標の達成に向けては、引き続きの改善が必要です。
- ・「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合」は、男性が策定時の値から減少し順調に改善しているのに対し、女性は策定時の値より頻度・量ともに増加しています。
- ・「妊娠中に飲酒する人の割合」は、策定時の値から約3分の1に減少し、順調に改善しています。

イ. 今後の課題

- ・アルコール健康障害対策基本法に基づくアルコール健康障害対策推進基本計画を踏まえ、生活習慣病のリスクを高める量に関する知識の普及啓発を推進する必要があります。
- ・未成年者や妊娠中の飲酒については、目標の0%に向けてさらなる啓発を実施する必要があります。

市の主な取り組み

- ・学校の体育・保健体育の授業における飲酒と健康についての教育
- ・保健所における飲酒についての正しい知識の普及啓発

(分野6) 歯の健康

ア. 目標の進捗状況と評価

A	6	B	1	C	3	D	2	E	0	計	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

目標及び指標			策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
むし歯と歯周病を減らす	乳幼児（3歳児）にむし歯がない人の割合		88.2%	91.7%	90%以上	A	
	12歳児 一人平均むし歯数		0.75本	0.52本	1.0本以下の維持に努める	A	
	進行した歯周炎がない人の割合	40歳	67.8%	64.5%	77%	D	
		60歳	50.8%	51.4%	60%	C	
80歳で20本以上自分の歯を有する人を増やす	80歳で20本以上の自分の歯を有する人の割合		58.3% (24年度)	66.0%	68%	A	
	60歳で24本以上の自分の歯を有する人の割合		77.0% (24年度)	84.8%	87%	A	
生涯を通じて、口と歯が持つ機能を育て、向上・維持する	3歳児で不正咬合等がない人の割合		83.6%	82.9%	90%	D	
	定期的な歯石除去や歯面清掃を受ける人の割合(55～65歳)		55.7%	59.2%	65%	B	
	過去1年間に歯科検診を受診した人の割合		38.7%	53.5%	65%	A	
	歯周疾患検診の受診率(名古屋市実施分)		3.8% (4,617人)	9.3% (12,031人)	12% (18,000人)	A	
	未処置歯がない人の割合	40歳	54.2%	60.8%	90%	C	
		60歳	64.7%	66.6%	90%	C	

- ・「乳幼児（3歳児）にむし歯がない人の割合」、「12歳児 一人平均むし歯数」は目標値を達成しています。また、「80歳で20本以上の自分の歯を有する人の割合」、「60歳で24本以上の自分の歯を有する人の割合」及び「過去1年間に歯科検診を受診した人の割合」は、順調に改善しており目標値を達成できる見込みです。
- ・「歯周疾患検診の受診率」は、無料クーポン券の送付などの効果により、策定時の値から大きく増加し、目標値を達成できる見込みです。
- ・「進行した歯周炎がない人の割合（60歳）」、「定期的な歯石除去や歯面清掃を受ける人の割合(55～65歳)」及び「未処置歯がない人の割合（40歳、60歳）」は、策定時の値から改善しているものの、現在のペースで推移した場合、目標値の達成は困難です。
- ・「進行した歯周炎がない人の割合（40歳）」及び「3歳児で不正咬合等がない人の割合」は、策定時の値を下回っています。

イ. 今後の課題

- ・乳幼児期、学齢期のむし歯対策については、順調に進捗している一方で、40歳、60歳の歯周病の状況に改善が見られないことから、成人期以降の口腔内の健康維持の大切さについて、更なる啓発が必要です。
- ・「80歳で20本以上の自分の歯を有する人の割合」及び「60歳で24本以上の自分の歯を有する人の割合」は、目標値に向けて改善しており、今後も引き続き現行事業を実施するとともに、歯周疾患検診の受診率向上に向けて、事業の周知・啓発に努めます。
- ・「生涯を通じて、口と歯が持つ機能を育て、向上・維持する」ための各目標値の達成に向けて、定期的な歯科受診等、歯科口腔保健の重要性について、一層の啓発を図る必要があります。特に、歯周疾患検診の受診率は、10%前後で推移していることから、目標の達成に向けては、現行の無料対象者（40歳～80歳の10歳間隔）以外の方へ、定期的な検診受診についての意識づけが必要です。

市の主な取り組み

- ・保健所における健康教育やフッ化物塗布の実施
- ・啓発イベント（歯と口の1日健康センター、なごや8020フェスティバル、歯をまもるよい子の会等）の開催や歯科120運動による歯科指導
- ・保健所、学校、協力歯科医療機関における各種歯科診査の実施



保健所の歯科衛生士による健康教育

(分野7) 糖尿病

ア. 目標の進捗状況と評価

A	4	B	0	C	3	D	0	E	0	計	7
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

目標及び指標				策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
特定健康診査・ 特定保健指導 の実施率を向 上させる	特定健康診査実施率※			25.7%	28.6%	60% (29年度)	C	変更
						38.6% (35年度)	新	
	特定保健指導実施率※			7.2%	7.6%	60% (29年度)	C	変更
						12.6% (35年度)	新	
メタボリック シンドローム の該当者や予 備群を減らす	メタボリックシンドローム該当者と予備群の割合※			28.7%	28.5%	25.8%	C	削除
特定保健指導 の対象者割合 を減らす	特定保健指導対象者の割合※			—	11.3%	10.8% (35年度)	新	追加
血 糖 コ ン ト ロール不良の 人を減らす	血糖コント ロール指標 におけるコ ントロール 不良者の割 合※	HbA1c (N GSP値) が 8.4%以上の 人の割合	服 薬 中 の 人	0.62%	0.52%	0.53%	A	変更
					0.49% (35年度)	新		
			服 薬 な し の 人	0.44%	0.37%	0.37%	A	変更
						0.34% (35年度)	新	
糖尿病治療を 継続する人の 割合を増やす	糖尿病治療 継続者の割 合※	HbA1c (NGSP値) が6.5 % 以上の人の うち、服薬治療して いる人の割合		52.4%	58.5%	61.8%	A	変更
						64.5% (35年度)	新	
糖尿病の人が 増えないよう にする	糖尿病有病 者の割合※	HbA1c (NGSP値) が6.5 % 以上の人の 割合		8.6%	8.0%	8.6%	A	変更
						7.2% (35年度)	新	

※名古屋市国民健康保険特定健康診査による

- ・「特定健康診査実施率」、「特定保健指導実施率」及び「メタボリックシンドローム該当者と予備群の割合」は、策定時の値から改善しているものの、現在のペースで推移した場合、目標値の達成は困難です。
- ・国のガイドラインにおいて、特定保健指導の実施の成果に関する目標が、「メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率」から「特定保健指導対象者の割合の減少率」に見直されたことから、指標を再設定します。
- ・「血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合」、「糖尿病有病者の割合」は、現時点で目標値を達成しています。また、「糖尿病治療継続者の割合」は、順調に改善しており目標値を達成できる見込みです。
- ・平成30年度からの「第2期名古屋市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）」及び「第3期名古屋市国民健康保険特定健康診査等実施計画」の考え方と整合性を図り、新たな目標値を設定します。

イ. 今後の課題

- ・「特定健康診査実施率」の向上のため、特に受診率の低い40歳代、50歳代の就業世代が受診しやすくなるよう、夜間帯の健診等、特定健康診査の受診機会の充実が必要です。
- ・「特定保健指導実施率」の向上のため、特定健康診査を受診した当日に同医療機関で保健指導を実施する等、対象者がより利用しやすい環境を整える必要があります。また、生活習慣の改善につながる料理教室や運動教室への参加者を増やすため、よりわかりやすい広報を心掛ける必要があります。
- ・特定健康診査の結果、メタボリックシンドローム該当者及び予備群に該当した方が特定保健指導を利用すると多くの方に改善の傾向がみられます。したがって、特定保健指導を利用しやすい環境づくりの取り組み・啓発を強化する必要があります。

市の主な取り組み

- ・特定健康診査・特定保健指導の受診率向上に向けた取り組み（電話・はがき等による勧奨、区役所等での休日健診、大型商業施設での集団健診等）[名古屋市国民健康保険]
- ・専門職による訪問・電話・手紙による治療勧奨、生活習慣改善の保健指導、特定健診等の受診勧奨、かかりつけ医との連携を図る「糖尿病性腎症等重症化予防事業」の実施 [名古屋市国民健康保険]
- ・保健所等における生活習慣病予防に関する講話や出張相談等

(分野8) 循環器疾患

ア. 目標の進捗状況と評価

A 4 B 0 C 7 D 0 E 0 計 11

目標及び指標			策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
特定健康診査・特定保健指導の実施率を向上させる	特定健康診査実施率※		25.7%	28.6%	60% (29年度)	C	変更
					38.6% (35年度)	新	
	特定保健指導実施率※		7.2%	7.6%	60% (29年度)	C	変更
					12.6% (35年度)	新	
メタボリックシンドロームの該当者や予備群を減らす	メタボリックシンドローム該当者と予備群の割合※		28.7%	28.5%	25.8%	C	削除
特定保健指導の対象者割合を減らす	特定保健指導対象者の割合※		—	11.3%	10.8% (35年度)	新	追加
脳血管疾患・虚血性心疾患による死亡率を下げる	脳血管疾患の年齢調整死亡率（人口10万人当たり）	男性	50.3 (22年度)	32.8 (27年)	42.3	A	
		女性	24.8 (22年度)	21.4 (27年)	22.8	A	
	虚血性心疾患の年齢調整死亡率（人口10万人当たり）	男性	36.6 (22年度)	29.1 (27年)	31.5	A	
		女性	15.8 (22年度)	13.0 (27年)	14.1	A	
高血圧を改善する	収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合※	男性	28.7%	28.3%	25.8%	C	変更
					26.3% (35年度)	新	
		女性	23.0%	22.7%	20.7%	C	変更
					20.7% (35年度)	新	
脂質異常症の人を減らす	LDLコレステロール値が160mg/dl以上の人の割合※	男性	11.0%	10.9%	9.9%	C	
		女性	15.9%	15.9%	14.3%	C	

※名古屋市国民健康保険特定健康診査による

- ・「特定健康診査実施率」、「特定保健指導実施率」及び「メタボリックシンドローム該当者と予備群の割合」は、策定時の値から改善しているものの、現在のペースで推移した場合、目標値の達成は困難です。
- ・国のガイドラインにおいて、特定保健指導の実施の成果に関する目標が、「メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率」から「特定保健指導対象者の割合の減少率」に見直されたことから、指標を再設定します。
- ・「脳血管疾患及び虚血性心疾患の年齢調整死亡率」は男女ともに目標値を達成しています。
- ・「収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合」及び「LDLコレステロール値が160mg/dl以上の人の割合」は、策定時の値から改善しているものの、現在のペースで推移した場合、目標値の達成は困難です。
- ・平成30年度からの「第2期名古屋市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）」及び「第3期名古屋市国民健康保険特定健康診査等実施計画」の考え方と整合性を図り、新たな目標値を設定します。

イ. 今後の課題

- ・「特定健康診査実施率」の向上のため、特に受診率の低い40歳代、50歳代の就業世代が受診しやすくなるよう、夜間帯の健診等、特定健康診査の受診機会の充実が必要です。
- ・「特定保健指導実施率」の向上のため、特定健康診査を受診した当日に同医療機関で保健指導を実施する等、対象者がより利用しやすい環境を整える必要があります。また、生活習慣の改善につながる料理教室や運動教室への参加者を増やすため、よりわかりやすい広報を心掛ける必要があります。
- ・特定健康診査の結果、メタボリックシンドローム該当者及び予備群に該当した方が特定保健指導を利用すると多くの方に改善の傾向がみられます。したがって、特定保健指導を利用しやすい環境づくりの取り組み・啓発を強化する必要があります。
- ・重症化予防事業において高血圧症の発症リスクの高い人を対象としたプログラムを検討する必要があります。

市の主な取り組み

- ・特定健康診査・特定保健指導の受診率向上に向けた取り組み（電話・はがき等による勧奨、区役所等での休日健診、大型商業施設での集団健診等）[名古屋市国民健康保険]
- ・保健所等における生活習慣病予防に関する講話や出張相談等

(分野9) がん

ア. 目標の進捗状況と評価

A	2	B	3	C	2	D	0	E	0	計	7
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

目標及び指標			策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
がんによる死亡者数を減らす	75歳未満のがんの年齢調整死亡率 (人口10万人当たり)		88.3 (22年)	79.9 (27年)	78.5 (27年)	B	削除
がん検診の受診率を向上させる	がん検診の受診率 (名古屋市実施分)	胃がん	9.6% (28,338人)	19.9% ※(28,099人)	50% (143,000人)	B	変更
					50% (52,000人)	新	
		大腸がん	21.7% (64,029人)	25.1% (74,502人)	50% (143,000人)	C	変更
					50% (148,000人)	新	
		肺がん	17.0% (50,068人)	21.6% (63,979人)	50% (143,000人)	C	変更
					50% (148,000人)	新	
		子宮がん	51.5% (76,961人)	58.9% (85,652人)	65% (94,000人)	A	変更
					65% (96,000人)	新	
		乳がん	35.1% (33,483人)	47.8% (45,389人)	50% (48,000人)	A	変更
					50% (47,000人)	新	
		前立腺がん	25.8% (19,950人)	32.4% (24,789人)	50% (37,000人)	B	変更
					50% (38,000人)	新	

※胃がんの現状値は、国の指針改定に伴い、対象年齢、受診間隔が変更となりました。
 平成27年度まで 40～69才 1年に1回
 平成28年度以降 50～69才 2年に1回

目標及び指標			策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
がん検診の精密検査受診率を向上させる	がん検診の精密検査受診率 (名古屋市実施分)	胃がん	—	73.7% (27年度)	90%	新	追加
		大腸がん	—	65.6% (27年度)	90%	新	
		肺がん	—	71.5% (27年度)	90%	新	
		子宮がん	—	61.8% (27年度)	90%	新	
		乳がん	—	84.8% (27年度)	90%	新	
		前立腺がん	—	57.8% (27年度)	90%	新	

- ・「75歳未満のがんの年齢調整死亡率」は、がん検診受診率の向上により、早期発見・早期治療が促進されたことや、がん医療の進歩等により、目標値に向けておおむね順調に減少しています。
- ・「75歳未満のがんの年齢調整死亡率」の目標・指標の見直しについては、国の第3期がん対策推進基本計画（平成29～34年度）において、早期発見・早期治療など、がんの予防施策の充実の観点から、「年齢調整死亡率」の数値目標が削除されたことに伴い、本計画の指標からも削除します。
- ・「がん検診の受診率」は、「ワンコインがん検診」の実施などにより、すべてのがん検診において増加傾向にあります。特に、子宮がん・乳がん検診における無料クーポン券事業の継続や、胃がん検診における内視鏡検査の導入などにより、受診率が向上している一方で、目標値との乖離が大きいがん検診もあります。
- ・「がん検診の受診率」の目標・指標の見直しについては、目標値の受診者数を策定時の対象者数をもとに設定していたため、平成28年度の対象者数をもとに設定し直すとともに、国の指針改定に伴い、胃がん検診の対象年齢と受診間隔が変更されたことから、目標値（人数）を変更します。
- ・国の第3期がん対策推進基本計画（平成29～34年度）において、新たに「精密検査受診率:90%」の数値目標が掲げられたことから、本市においても同様の目標値を設定します。

イ. 今後の課題

- ・がん検診の受診率向上及び新たに目標・指標に掲げた精密検査の受診率向上のため、早期発見・早期治療などのがん予防の啓発や、訴求力のある広報啓発の実施、関係機関との連携が必要です。

市の主な取り組み

- ・ワンコインがん検診の実施や無料クーポン券等による自己負担の軽減
- ・医療保険者との連携や休日巡回検診の実施による受診機会の提供
- ・がん検診ガイドの全戸配布、小中学生向けの学習補助教材の作成、がん相談・情報サロン「ピアネット」における出張講座等による広報啓発
- ・精度管理委員会の開催によるがん検診の精度の向上

❖ がんに関する学習補助教材の作成 ❖

がんに関する正しい知識の習得と理解の向上を図ることによって、がん予防の意識を高め、生涯にわたる健康づくりにつなげていくことをねらいとして、平成26年3月に政令指定都市として初めて、小中学生向けの冊子を作成しました。



❖ 地域におけるがんの出張講座 ❖

名古屋市がん相談・情報サロン「ピアネット」において、がんに関する知識の普及啓発や検診受診率の向上、がんを正しく理解し受け入れる社会風土の醸成を目的として、平成29年6月から月1回程度、地域におけるがんの出張講座を開催しています。



(分野10) 予防接種

ア. 目標の進捗状況と評価

A	2	B	0	C	0	D	0	E	0	計	2
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

目標及び指標			策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
ワクチンにより防ぐことのできる疾病の患者数を減らす	1 医療機関当たりの年間患者報告数	水痘	30.1人 (23年)	12.3人 (28年)	減少傾向	A	
		流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	9.2人 (23年)	8.1人 (28年)		A	

- ・水痘、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）の「1 医療機関当たりの年間患者報告数」は、策定時の値より大きく減少しており、目標に向けて改善しています。
- ・水痘は平成26年10月より定期接種化しており、現在は流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）の他、高齢者肺炎球菌（65歳以上の定期予防接種対象外の方）、ロタウイルス、風しんの任意予防接種費用の助成を実施しています。

イ. 今後の課題

- ・目標の達成に向け、接種医療機関やワクチン供給などの接種体制を維持し、市民へわかりやすい制度周知を図る必要があります。

市の主な取り組み

- ・任意予防接種費用の助成〔流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、高齢者肺炎球菌(65歳以上の定期予防接種対象外の方)、ロタウイルス、風しん〕 ※平成29年4月時点
- ・定期予防接種（BCGを除く）の県内広域化
- ・予防接種対象者の方への個別通知によるご案内、市公式ウェブサイトや子育てアプリ「NAGOMii」を利用した普及啓発

(分野11) 思春期の保健対策の強化と心身両面の健康づくり

ア. 目標の進捗状況と評価

A	4	B	0	C	1	D	1	E	2	計	8
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

目標及び指標			策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
未成年者の喫煙・ 飲酒をなくす	喫煙する未成年者の 割合	男性	0.0%	4.1%	0%	D	
		女性	2.6%	0.0%		A	
	飲酒する未成年者の 割合	男性	5.0%	1.4%	0%	A	
		女性	1.3%	1.2%		C	
性感染症による身 体的影響等を正し く理解している未 成年者を増やす	性行動による性感染 症等の身体的影響等 について知識のある 未成年者の割合	性行動は相手の身体や 心を傷つける可能性が 高いと思う未成年者の 割合		—	増やす	E	
		自分の身体を大切にし ている未成年者の割合		—		E	
薬物乱用防止教室 等を実施する中学 校・高校を増やす	外部機関と連携した 薬物乱用防止教室等 を実施している中学 校・高校の割合	中学校	38.5%	50.0%	増やす	A	
		高校	75.0%	81.2%		A	

- ・「喫煙する未成年者の割合」については、男性は策定時の値より増加しており、女性は策定時の値より減少しているものの、目標の達成に向けては、引き続きの改善が必要です。
- ・「飲酒する未成年者の割合」については、男女ともに減少しているものの、目標の達成に向けては、引き続きの改善が必要です。
- ・「外部機関と連携した薬物乱用防止教室等を実施している中学校・高校の割合」は、目標に向けて順調に増加しています。

イ. 今後の課題

- ・喫煙・飲酒をなくすため、未成年者に対する教育や広報の強化が必要です。
- ・望まない妊娠につながらないよう、正しい知識の提供を継続することが必要です。また、知識があることと、適切な行動ができることは異なることを踏まえた教育が必要です。
- ・薬物乱用防止教室等を実施する中学校・高校を増やすため、外部講師の紹介等の取り組みが必要です。

市の主な取り組み

- ・小・中・高校等と保健所との連携による思春期セミナーの開催
- ・中学生を対象とした性感染症予防の普及啓発
- ・警察や医療機関等の外部機関と連携した薬物乱用防止教室等の実施

(分野12) 妊娠・出産に関する安全性の確保と健康づくり

ア. 目標の進捗状況と評価

A	1	B	1	C	2	D	0	E	0	計	4
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

目標及び指標		策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
妊娠中の喫煙・飲酒をなくす	妊娠中に喫煙する人の割合	4.7%	2.5%	0%	B	
	妊娠中に飲酒する人の割合	3.7%	1.3%	0%	A	
妊娠11週以内での妊娠の届出者を増やす	妊娠11週以内での妊娠の届出者の割合	91.3%	91.6%	100%	C	
マタニティマークを普及啓発し、利用する人を増やす	マタニティマークを利用して効果を感じた母親の割合	51.7%	55.7%	80%	C	

- ・「妊娠中に喫煙する人の割合」は、策定時と比べ約半減し、目標達成に向けておおむね順調に改善しています。
- ・「マタニティマークを利用して効果を感じた母親の割合」は、策定時と比べやや増加しているものの、現在のペースで推移した場合、目標値の達成は困難です。

イ. 今後の課題

- ・平成28年度の「健康に関する市民アンケート」によると、たばこと健康を考える上で有効だと思う取り組みについて、「未成年者、妊産婦へのたばこの害に関する教育」と回答した方の割合は44.4%であり、妊産婦へのたばこの害に関する教育や個々の状況を踏まえた保健指導及び広報の強化が必要です。
- ・「妊娠11週以内での妊娠の届出者の割合」については、海外で出産し、日本に戻ってきた場合などのケースが一定数あり、目標の達成は困難ですが、引き続き啓発が必要です。
- ・妊娠時の健康管理について、妊娠する前の世代に対する普及・啓発の取り組みが重要であると考えられます。
- ・マタニティマークについて、さまざまな機会をとらえ利用促進を図ることが必要です。また、マタニティマークの妊婦自身への普及とともに、地域、職場を含めた周囲への啓発を進めて行くことが必要です。

市の主な取り組み

- ・思いがけない妊娠で悩み、不安に思っている方を対象とした相談窓口「なごや妊娠SOS」や「子育て総合相談窓口（子育て世代包括支援センター）」の周知広報
- ・母子健康手帳交付時や両親学級等での禁煙・飲酒防止に関する普及啓発
- ・妊娠11週以内の妊娠届出や妊婦健康診査受診のポスターによる周知

(分野13) 小児保健水準の向上

ア. 目標の進捗状況と評価

A	0	B	0	C	2	D	1	E	1	計	4
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

目標及び指標		策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
具体的な事故防止の知識を 学び、家庭内の危険な物、 場所を見直して子どもの事 故防止に努める家庭を増や す	子どもの事故防止対 策を実施している家 庭の割合	75.2%	34.8%	100%	E	
心肺蘇生法を学び、応急処 置ができる人を増やす	心肺蘇生法を知って いる親の割合	15.1%	18.9%	50%	C	
	心肺蘇生法を適切に できる親の割合	10.0%	10.6%		C	
乳児をうつぶせ寝にする人 をなくす	乳児期にうつぶせ寝 をさせている親の割 合	0.3%	0.6%	0%	D	

- ・「子どもの事故防止対策を実施している家庭の割合」は、指標の進捗状況を把握していた「健やか親子21アンケート」において、浴室ドアへの事故防止対策に限定した設問内容に変更したため、策定時と中間評価時で異なり、数値上の比較は困難です。
- ・「心肺蘇生法を知っている親の割合」は増加傾向であるが、「心肺蘇生法を適切に実施できる親の割合」はほぼ横ばいであり、現在のペースで推移した場合、目標値の達成は困難です。

イ. 今後の課題

- ・乳幼児健康診査時や、子どもの事故防止に関する教室での健康教育等において、子どもの事故防止に関する啓発を継続的に続けていく必要があります。
- ・心肺蘇生法について「適切に」実施するということは、市民にとって難易度が高く、また、主観的な要素が大きいため、現状値をさらに上げることは困難ですが、市民の方に、心肺蘇生法の実技指導を積極的に受けていただくよう働きかけを進めていく必要があります。
- ・「乳児期にうつぶせ寝をさせている親の割合」は、0%に近づいていますが、乳幼児突然死症候群（SIDS）対策強化月間（11月）の周知や、乳幼児突然死予防のリーフレット等の配布により、個別の状況に配慮しながら、引き続き普及・啓発に取り組む必要があります。

市の主な取り組み

- ・保健所子育て教室等での子どもの事故防止や心肺蘇生法の実技指導
- ・乳幼児突然死症候群（SIDS）対策強化月間やSIDS予防リーフレットによる啓発

(分野14) 子どものこころの安らかな発達と育児不安の軽減

ア. 目標の進捗状況と評価

A	0	B	6	C	1	D	1	E	0	計	8
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

目標及び指標			策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
育児についての相談相手がいない母親をなくす	育児についての相談相手がいる母親の割合	3か月児健診時	99.0%	99.8%	100%	B	
		1歳6か月児健診時	99.3%	99.1%		D	
		3歳児健診時	99.1%	99.2%		C	
育児に参加する父親を増やす	育児に参加する父親の割合	3か月児健診時	53.1%	56.1%	60%	B	
		1歳6か月児健診時	48.4%	53.6%	55%	B	
		3歳児健診時	47.0%	49.4%	50%	B	
乳幼児健康診査に満足する人を増やす	乳幼児健康診査に満足している人の割合	1歳6か月児健診時	79.4%	88.7%	100%	B	
		3歳児健診時	76.9%	85.2%		B	
児童虐待による死亡をなくす	児童虐待による死亡数ゼロ						
子どもの発達について「育てにくさ」を感じつつも適切な対応がとれる親を増やす	子どもの発達が気になった時に相談できる機関を知っている人の割合		—	39.5%	100%	新	追加
	発達障害を知っている人の割合		—	51.5%	90%	新	

- ・「育児についての相談相手がいる母親の割合」は、リーフレット等による相談窓口の案内や、妊娠・出産期サポーターの配置等の取り組みにより、いずれの健康診査の調査結果でも、高い割合が維持できています。
- ・「育児に参加する父親の割合」、「乳幼児健康診査に満足している人の割合」は、各健康診査時の調査結果において、おおむね順調に改善しています。
- ・平成27年度からの、国の「健やか親子21（第2次）」において重点課題とされた「育てにくさを感じる親に寄り添う支援」に対応するため、新たな目標を『子どもの発達について「育てにくさ」を感じつつも適切な対応がとれる親を増やす』とし、「子どもの発達が気になった時に相談できる機関を知っている人の割合」及び「発達障害を知っている人の割合」を指標とします。

イ. 今後の課題

- ・乳幼児健康診査は、限られた時間の中で、多くの方が健診を受けられるため、スムーズな進行を確保する必要があります。また、乳幼児健康診査の満足度向上のためには、健診案内の個別通知や外国の方に母国語の健診受診票をお渡しするなどの配慮に加え、健診の質を確保していくことが必要です。
- ・児童虐待を未然に防ぐため、妊娠から出産、子育てにいたるまで、悩みや不安、孤立感等を解消するための相談・支援・交流に係る事業を推進するとともに、支援を必要とする方を早期に把握し、関係機関が連携して、必要な支援に繋ぐ取り組みをすすめていく必要があります。

市の主な取り組み

- ・「子育て総合相談窓口（子育て世代包括支援センター）」の周知広報
- ・子ども発達支援サイト「すてっぷサポート」による周知広報
- ・両親学級、共働きカップルのためのパパママ教室の開催
- ・「名古屋市児童を虐待から守る条例」で定めている児童虐待防止推進月間（5・11月）を中心とした児童虐待防止の啓発
- ・児童虐待等の児童相談に対し、より迅速・的確に対応するため、児童相談所及び社会福祉事務所の体制を強化



(参考指標) 都市（まち）環境の健康

目標及び指標		策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)
大気環境と水環境の 保全 ※「第3次名古屋市 環境基本計画」より	大気汚染にかかる環境目標値（二 酸化窒素）の達成率	88.9%	94.4%	100% (32年度)
	水質汚濁にかかる環境目標値 (BOD) の達成率	88.0%	76.0%	
みんなで取り組む緑 のまちづくり※「な ごや緑の基本計画 2020」より	主な緑のまちづくり活動に携わっ た市民の延べ人数	延べ 20,000人	延べ 173,000人 (23～28年度)	延べ 25万人 (23～32年度)
人と生き物が快適に 暮らすまちづくり※ 「なごや緑の基本計 画2020」より	市民1人あたりの都市公園等の面積	9.5㎡	9.5㎡	10㎡ (32年度)

III

資 料 編

各分野の指標に係る現状値のデータソース一覧

分野	指標		データソース
(分野 1) 栄養・食生活	全出生数中の低出生体重児（2,500 g 未満）の割合		全出生数に占める低出生体重児の届出数を集計
	肥満傾向（肥満度20%以上）にある子ども（小学生）の割合		名古屋市立小学校における学校保健調査を集計
	適正体重を維持している人の割合		健康に関する市民アンケート
	朝食を毎日食べている人の割合	小学5年生・中学2年生	全国体力・運動能力、運動習慣等調査
		小学6年生・中学3年生	全国学力・学習状況調査
		20・30歳代	健康に関する市民アンケート
	栄養バランスのとれた適量の食事をほとんど毎日とっている人の割合（1日のうち少なくとも1食）		
	野菜を1日350g以上食べるようにしている人の割合		
	果物を1日200g程度食べるようにしている人の割合		
	塩分を控えるようにしている人の割合		健康に関する市民アンケート
65歳以上のBMI20以下の人の割合			
家族等の誰かと一緒に食事をする市民の割合（1週間のうち3日以上家族や友人等と一緒に食事をする人の割合）		食育に関するアンケート調査	
(分野 2) 身体活動・運動	一日の歩数		国民健康・栄養調査を集計
	週に2回以上、1回30分以上の運動を1年以上継続している人の割合		健康に関する市民アンケート
	週に1回以上、運動・スポーツを実施している成人の割合		名古屋市総合計画2018成果指標に関するアンケート調査
	1週間の総運動時間が60分未満の子ども（小学校5年生と中学校2年生）の割合		全国体力・運動能力、運動習慣等調査
	介護保険第1号被保険者における要介護・要支援者の割合		介護保険事業概況
	骨粗しょう症検診受診率（名古屋市実施分）		骨粗しょう症検診実績値
	要介護・要支援認定「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の高齢者の割合		65歳以上の高齢者における「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上者の割合実績値
(分野 3) 休養・こころの健康づくり	睡眠を十分に取れていない人の割合		健康に関する市民アンケート
	深刻な悩みを抱えたとき、誰かに（どこかに）相談する人の割合		悩みの相談と自殺対策に関するアンケート
	こころの病気に関する行政の相談窓口があることを知っている人の割合		健康に関する市民アンケート
	自殺者数（人口10万人当たり）		人口動態統計
(分野 4) たばこ	成人の喫煙率		健康に関する市民アンケート
	喫煙する未成年者の割合		
	妊娠中に喫煙する人の割合		健やか親子21アンケート
	建物内全面禁煙実施施設数		建物内全面禁煙実施施設認定事業実績値
(分野 5) アルコール	飲酒する未成年者の割合		健康に関する市民アンケート
	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人（1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者）の割合		
	妊娠中に飲酒する人の割合		健やか親子21アンケート
(分野 6) 歯の健康	乳幼児（3歳児）にむし歯がない人の割合		3歳児健康診査実績値
	12歳児 一人平均むし歯数		名古屋市立中学校における定期健康診断実績値

分野	指標	データソース
(分野6) 歯の健康	進行した歯周炎がない人の割合	歯周疾患検診実績値
	80歳で20以上の自分の歯を有する人の割合	
	60歳で24以上の自分の歯を有する人の割合	
	3歳児で不正咬合等がない人の割合	3歳児健康診査実績値
	定期的な歯石除去や歯面清掃を受ける人の割合（55～65歳）	健康に関する市民アンケート
	過去1年間に歯科検診を受診した人の割合	
	歯周疾患検診の受診率（名古屋市実施分）	歯周疾患検診実績値
	未処置歯がない人の割合	
(分野7) 糖尿病	特定健康診査実施率	名古屋市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導実績値
	特定保健指導実施率	
	メタボリックシンドローム該当者と予備群の割合	
	特定保健指導対象者の割合	
	血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合	
	糖尿病治療継続者の割合	
	糖尿病有病者の割合	
(分野8) 循環器疾患	特定健康診査実施率	名古屋市健康福祉年報（人口動態統計編）を集計
	特定保健指導実施率	
	メタボリックシンドローム該当者と予備群の割合	
	特定保健指導対象者の割合	
	脳血管疾患の年齢調整死亡率（人口10万人当たり）	
	虚血性心疾患の年齢調整死亡率（人口10万人当たり）	
	収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合	
(分野9) がん	LDLコレステロール値が160mg/dl以上の人の割合	名古屋市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導実績値
	75歳未満のがんの年齢調整死亡率（人口10万人当たり）	名古屋市健康福祉年報（人口動態統計編）を集計
	がん検診の受診率（名古屋市実施分）	名古屋市がん検診実績値
	がん検診の精密検査受診率（名古屋市実施分）	
(分野10) 予防接種	1医療機関当たりの年間患者報告数	感染症発生動向調査
(分野11) 思春期の保健対策の強化と心身両面の健康づくり	喫煙する未成年者の割合	健康に関する市民アンケート
	飲酒する未成年者の割合	
	外部機関と連携した薬物乱用防止教室等を実施している中学校・高校の割合	名古屋市学校保健・安全活動状況調査等
(分野12) 妊娠・出産に関する安全性の確保と健康づくり	妊娠中に喫煙する人の割合	健やか親子21アンケート
	妊娠中に飲酒する人の割合	地域保健・健康増進事業報告
	妊娠11週以内での妊娠の届出者の割合	
	マタニティマークを利用して効果を感じた母親の割合	子育てに関するアンケート
(分野13) 小児保健医療水準の向上	子どもの事故防止対策を実施している家庭の割合	健やか親子21アンケート
	心肺蘇生法を知っている親の割合	子育てに関するアンケート
	心肺蘇生法を適切にできる親の割合	
	乳児期にうつぶせ寝をさせている親の割合	
(分野14) 子どものこころの安らかな発達と育児不安の軽減	育児についての相談相手がいる母親の割合	健やか親子21アンケート
	育児に参加する父親の割合	
	乳幼児健康診査に満足している人の割合	子育てに関するアンケート
	子どもの発達が気になった時に相談できる機関を知っている人の割合	
	発達障害を知っている人の割合	健康に関する市民アンケート

健康に関する市民アンケートの集計結果

【1】 あなたの健康状態について

問 1 名古屋市が平成25年に発表した「健康なごやプラン21（第2次）」を聞いたことがありますか？（○印は1つ）

1 はい 522人(9.8%)
☆ 不明 122人(2.3%)
2 いいえ 4,668人(87.9%)

問 2 あなたは日頃から健康について意識していますか？（○印は1つ）

1 とても意識している 1,067人(20.1%)
2 まあまあ意識している 3,251人(61.2%)
3 あまり意識していない 815人(15.3%)
4 ほとんど意識していない 121人(2.3%)
☆ 不明 58人(1.1%)

問 3 最近の健康状態はいかがですか？（○印は1つ）

1 たいへんよい 369人(6.9%)
2 よい 3,319人(62.5%)
3 あまりよくない 1,378人(25.9%)
4 よくない 181人(3.4%)
☆ 不明 65人(1.2%)

問 4 現在、通院されている場合は、該当する番号に○をつけてください。（○印はいくつでも）

1 高血圧 1,084人(20.4%)
2 糖尿病 371人(7%)
3 がん 158人(3%)
4 肝疾患(がんを除く) 54人(1%)
5 胃・十二指腸疾患(がんを除く) 123人(2.3%)
6 脂質異常症(高脂血症) 342人(6.4%)
7 心疾患 172人(3.2%)
8 脳卒中(脳梗塞・脳出血) 92人(1.7%)
9 歯周病 327人(6.2%)
10 整形外科疾患(腰痛・膝痛等) 728人(13.7%)
11 精神疾患 169人(3.2%)
☆ 不明 2,484人(46.8%)
12 その他 828人(15.6%)

[平成28年11月～12月実施 回答者数：5,312人]

【2】 生活習慣病について

問 5 「生活習慣病」（がん、脳卒中、心臓病、糖尿病、高血圧、歯周病など食生活や運動などの生活習慣が病気の発症に深く関与する病気）という言葉と内容を知っていますか？（○印は1つ）

1 言葉、内容とも知っている 3,361人(63.3%)
2 言葉のみ知っている 1,729人(32.5%)
3 知らない 146人(2.7%)
☆ 不明 76人(1.4%)

問 6 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）は、内臓脂肪型肥満によって糖尿病、脂質異常症、高血圧などの病気が引き起こされる状態のことを言い、食べ過ぎや運動不足など、悪い生活習慣の積み重ねが原因となっており、起こることを知っていますか？（○印は1つ）

1 言葉、内容とも知っている 3,851人(72.5%)
2 言葉のみ知っている 1,204人(22.7%)
3 知らない 199人(3.7%)
☆ 不明 58人(1.1%)

問 7 生活習慣病を予防するために、健康的な生活習慣を心がけていますか？（○印は1つ）

1 いつも心がけている 739人(13.9%)
2 まあまあ心がけている 3,135人(59%)
3 あまり心がけていない 1,235人(23.2%)
4 心がけていない 146人(2.7%)
☆ 不明 57人(1.1%)

【3】 栄養について

問 8 朝食を毎日食べていますか？（○印は1つ）

1 ほとんど毎日食べる 4,284人(80.6%)
2 週4～5日食べる 318人(6%)
3 週2～3日食べる 244人(4.6%)
4 ほとんど食べない 422人(7.9%)
☆ 不明 44人(0.8%)

問 9 1日のうち少なくとも1食は、栄養のバランスがとれた適量の食事をとっていますか？（○印は1つ）

1 ほとんど毎日とっている 2,791人(52.5%)
2 週4～5日とっている 1,198人(22.6%)
3 週2～3日とっている 896人(16.9%)
4 ほとんどとっていない 359人(6.8%)
☆ 不明 68人(1.3%)

問10 適正体重についてお尋ねします。該当する番号に○をつけてください。
(○印は各設問に1つ)

10-1 自分の適正体重を知っていますか？

1 はい 3,935人(74.1%) 2 いいえ 1,316人(24.8%)
☆ 不明 61人(1.1%)

10-2 自分の適正体重を維持しようとしていますか？

1 はい 3,629人(68.3%) 2 いいえ 1,579人(29.7%)
☆ 不明 104人(2.0%)

問11 あなたの食生活についてお尋ねします。該当する番号に○をつけてください。
(○印は各設問に1つ)

11-1 野菜を1日350g以上(目安量は、野菜料理の小鉢5～6品)食べるようにしていますか？

1 はい 2,009人(37.8%) 2 いいえ 3,230人(60.8%)
☆ 不明 73人(1.4%)

11-2 果物を1日200g程度(目安量は、みかん2個またはりんご1個)食べるようにしていますか？

1 はい 1,803人(33.9%) 2 いいえ 3,449人(64.9%)
☆ 不明 60人(1.1%)

11-3 塩分を控えるようにしていますか？(具体例：丼ものやめん類を食べたり、みそ汁やスープ類を飲む量や回数を減らす)

1 はい 2,997人(56.4%) 2 いいえ 2,262人(42.6%)
☆ 不明 53人(1.0%)

11-4 牛乳・乳製品・豆類・緑黄色野菜などカルシウムに富む食品を食べるようにしていますか？

1 はい 4,143人(78.0%) 2 いいえ 1,117人(21.0%)
☆ 不明 52人(1.0%)

11-5 動物性脂肪を多く含む食品(肉、卵など)を食べ過ぎないようにしていますか？

1 はい 3,792人(71.4%) 2 いいえ 1,460人(27.5%)
☆ 不明 60人(1.1%)

【4】運動・社会参加について

問12 日常生活での行動についてお尋ねします。該当する番号に○をつけてください。
(○印は各設問に1つ)

12-1 車などを使わずになるべく歩くようにしていますか？

1 はい 2,755人(51.9%) 2 いいえ 2,490人(46.9%)
☆ 不明 67人(1.3%)

12-2 エレベーターやエスカレーターを使わずになるべく階段を使うようにしていますか？

1 はい 2,032人(38.3%) 2 いいえ 3,213人(60.5%)
☆ 不明 67人(1.3%)

問13 家事(買い物等)や仕事も含めて、平均的に毎日何分ぐらい歩きますか？
(○印は1つ)

1 90分以上 1,109人(20.9%)
2 60分以上90分未満 1,085人(20.4%)
3 30分以上60分未満 1,829人(34.4%)
4 30分未満 1,154人(21.7%)
☆ 不明 135人(2.5%)

問14 あなたの運動習慣についてお尋ねします。該当する番号に○をつけてください。
(○印は各設問に1つ)

14-1 運動をどのくらいしていますか？

1 ほぼ毎日 675人(12.7%)
2 週に4～5日程度 484人(9.1%)
3 週に2～3日程度 918人(17.3%)
4 週に1日以下 674人(12.7%)
5 特に運動をしていない 2,427人(45.7%)
☆ 不明 134人(2.5%)

14-2 1回の運動時間は、どのくらいですか？

1 2時間以上 372人(13.5%)
2 1時間以上2時間未満 813人(29.6%)
3 30分以上1時間未満 1,041人(37.8%)
4 30分未満 500人(18.2%)
☆ 不明 25人(0.9%)

14-3 その運動習慣は、どのくらい続いていますか？

- 1 3年以上 1,479人(53.8%)
- 2 1年以上3年未満 551人(20%)
- 3 半年以上1年未満 362人(13.2%)
- 4 半年未満 315人(11.5%)
- ☆ 不明 44人(1.6%)

問15 □コモティブシンドローム（運動器症候群）は、骨や関節、筋肉などの「運動器」の衰えのために移動機能が低下した状態のことをいい、進行すると介護が必要になるリスクが高くなると知っていますか？（○印は1つ）

- 1 言葉、内容とも知っている 1,144人(21.5%)
- 2 言葉のみ知っている 1,171人(22.0%)
- 3 知らない 2,879人(54.2%)
- ☆ 不明 118人(2.2%)

問16 日ごろの生活についてお尋ねします。該当する番号に○をつけてください。（○印は各設問に1つ）

16-1 普段、仕事、通学、買い物、通院、散歩などで外出することがどのくらいありますか？

- 1 ほぼ毎日 3,434人(64.6%)
- 2 週に4～5日 895人(16.8%)
- 3 週に2～3日程度 585人(11%)
- 4 週に1日以下 159人(3.0%)
- 5 ほとんど外出していない 164人(3.1%)
- ☆ 不明 75人(1.4%)

16-2 町内会、老人クラブ、女性会、PTA、など地域の活動やボランティア、趣味関係のグループに何らかのかたちで参加していますか？

- 1 ほぼ毎日 119人(2.2%)
- 2 週に2～3日 344人(6.5%)
- 3 週1回程度 372人(7.0%)
- 4 月1～2回 495人(9.3%)
- 5 年に数回 454人(8.5%)
- 6 参加していない 3,443人(64.8%)
- ☆ 不明 85人(1.6%)

【5】 休養・こころの健康について

問17 自由な時間（仕事・家事・食事・入浴・睡眠などを除く）をどのような目的で過ごすようにしていますか？（○印はいくつでも）

- 1 疲れをとる 2,476人(46.6%)
- 2 体カづくり 806人(15.2%)
- 3 教養、技能を高める 682人(12.8%)
- 4 家族や友人とのだらん 1,900人(35.8%)
- 5 地域・ボランティア活動 203人(3.8%)
- 6 趣味 2,345人(44.1%)
- 7 特に目的を定めていない 1,456人(27.4%)
- 8 その他 200人(3.8%)
- 9 自由な時間がない 226人(4.3%)
- ☆ 不明 106人(2%)

問18 日ごろの睡眠時間で充分だと思いますか？（○印は1つ）

- 1 充分である 1,189人(22.4%)
- 2 ほぼ充分である 1,971人(37.1%)
- 3 多少不足気味である 1,615人(30.4%)
- 4 不足している 468人(8.8%)
- ☆ 不明 69人(1.3%)

問19 この1ヶ月間にストレス（イライラ・不満）を感じましたか？（○印は1つ）

- 1 ストレスはない 1,077人(20.3%)
- 2 多少感じた 2,862人(53.9%)
- 3 かなり感じた 1,199人(22.6%)
- ☆ 不明 174人(3.3%)

問20 どのようなことでストレスを感じましたか？（○印はいくつでも）

- 1 仕事や勉強について 1,697人(41.8%)
- 2 職場や学校の人間関係について 1,025人(25.2%)
- 3 知人や隣人との人間関係について 442人(10.9%)
- 4 収入や支出などの経済的問題について 994人(24.5%)
- 5 家庭内の問題について 1,233人(30.4%)
- 6 自分自身の健康問題について 1,050人(25.9%)
- 7 その他 317人(7.8%)
- ☆ 不明 47人(1.2%)

問21 ストレスを感じた時、あなたはどのような方法で解消しますか？（○印はいくつでも）

- 1 スポーツなどで体を動かす 846人(15.9%)
- 2 音楽を聴く 1,117人(21.0%)
- 3 旅行などに出かける 638人(12.0%)
- 4 子どもと遊ぶ 282人(5.3%)
- 5 ペットと遊ぶ 411人(7.7%)
- 6 家族や友人に話を聞いてもらう 1,626人(30.6%)
- 7 専門家に相談する 76人(1.4%)
- 8 寝る 1,693人(31.9%)
- 9 酒を飲む 874人(16.5%)
- 10 食べる 1,063人(20%)
- 11 のんびりする時間をとる 1,756人(33.1%)
- 12 じっと耐える 775人(14.6%)
- 13 積極的に自分で解決しようとする 619人(11.7%)
- 14 その他 373人(7%)
- 15 特になし 482人(9.1%)
- ☆ 不明 361人(6.8%)

問22 「うつ病」などのこころの病気に関する相談機関についてお尋ねします。（○印は各設問に1つ）

22-1 各区の保健所に「こころの病気」に関する相談窓口があることを知っていましたか？

- 1 知っていた 1,699人(32.0%)
- 2 知らなかった 3,513人(66.1%)
- ☆ 不明 100人(1.9%)

22-2 名古屋市精神保健福祉センターに「こころの病気」に関する相談窓口があることを知っていましたか？

1 知っていた	680人(12.8%)
2 精神保健福祉センターは知っていたが、相談窓口があることは知らなかった。	403人(7.6%)
3 知らなかった	4,094人(77.1%)
☆ 不明	135人(2.5%)

【6】 たばこについて

問23 たばこを吸いますか？ (○印は1つ)

1 吸ったことがない	2,966人(55.8%)
2 過去には吸っていた	1,466人(27.6%)
3 現在吸っている	808人(15.2%)
☆ 不明	72人(1.4%)

問24 (問23で2と答えた方へ) 禁煙のきっかけは何ですか？ (○印は1つ)

1 自発的に	846人(57.7%)
2 周囲の嫌煙ムードを察知して	34人(2.3%)
3 家族や知人から言われて	138人(9.4%)
4 体調をくずして	274人(18.7%)
5 職場の規則	4人(0.3%)
6 その他	97人(6.6%)
☆ 不明	73人(5.0%)

問25 (問23で2と答えた方へ) たばこをやめたのはどれくらい前ですか？ (○印は1つ)

1 6か月未満	49人(3.3%)
2 6か月以上～1年未満	39人(2.7%)
3 1年以上～3年未満	93人(6.3%)
4 3年以上	1,189人(81.1%)
☆ 不明	96人(6.5%)

問26 (問23で3と答えた方へ) 最近1年以内に禁煙を試みましたか？ (○印は1つ)

1 はい	159人(19.7%)
☆ 不明	17人(2.1%)
2 いいえ	632人(78.2%)

問27 (問26で1と答えた方へ) 何らかの禁煙サポート (禁煙外来・薬局での指導・保健所での禁煙教室など) を受けましたか？ (○印は1つ)

1 はい	18人(11.3%)
☆ 不明	22人(13.8%)
2 いいえ	119人(74.8%)

問28 (問23で2、3と答えた方へ) たばこを吸い始めたのはいつ頃ですか？ () 内に数字を記入

20歳未満	540人(23.7%)
30歳代	78人(3.4%)
50歳代	13人(0.6%)
70歳以上	4人(0.2%)
20歳代	1,410人(62.0%)
40歳代	28人(1.2%)
60歳代	6人(0.3%)
☆ 不明	195人(8.6%)

問29 (問23で3と答えた方へ) 今後禁煙したいと思いますか？ (○印は1つ)

1 はい	379人(46.9%)
☆ 不明	91人(11.3%)
2 いいえ	338人(41.8%)

問30 次の病気のうち、喫煙が影響してかかりやすくなると思うものに○をつけてください。(○印はいくつでも)

1 肺がん	4,898人(92.2%)
3 気管支炎	3,473人(65.4%)
4 COPD(慢性閉塞性肺疾患)	2,730人(51.4%)
5 心臓病	2,046人(38.5%)
7 胃かいよう	898人(16.9%)
9 歯周病	1,488人(28.0%)
2 ぜん息	2,911人(54.8%)
6 脳卒中	2,071人(39.0%)
8 妊娠時の異常	2,676人(50.4%)
☆ 不明	252人(4.7%)

問31 この1ヶ月間に、受動喫煙 (他人が吸っているたばこの煙を吸う) の機会がありましたか？ (○印はいくつでも)

1 家庭内	631人(11.9%)
3 公園	171人(3.2%)
5 医療機関	28人(0.5%)
7 遊技場	399人(7.5%)
9 歩きタバコ	1,478人(27.8%)
11 機会はなかった	1,248人(23.5%)
2 職場内	997人(18.8%)
4 行政機関や公共施設	199人(3.7%)
6 飲食店	1,906人(35.9%)
8 路上・駐車場	946人(17.8%)
10 その他	185人(3.5%)
☆ 不明	327人(6.2%)

問32

たばこと健康を考える上で、どのような取り組みが有効だと思いますか。
(○印はいくつでも)

1 多数の人が集まる施設の禁煙・分煙 3,877人(73.0%)

2 歩行中の禁煙推進 2,835人(53.4%)

3 職場での禁煙・分煙 2,216人(41.7%)

4 未成年者、妊産婦へのたばこの害に関する教育 2,358人(44.4%)

5 禁煙支援に関する健康教育 1,541人(29.0%)

6 正しい知識の普及 2,145人(40.4%)

7 その他 305人(5.7%)

☆ 不明 299人(5.6%)

【7】 飲酒について

問33

お酒をどのくらい飲みますか？ (○印は1つ)

1 ほとんど飲まない 3,174人(59.8%)

2 週に1～2日 606人(11.4%)

3 週に3～4日 297人(5.6%)

4 週に5～6日 323人(6.1%)

5 毎日 779人(14.7%)

☆ 不明 133人(2.5%)

問34

（問33で2～5と答えた方へ）
1日あたりの平均的な飲酒量はどのくらいですか？
下の表を参考にお答えください。〔（ ）内に数字を記入〕

日本酒に換算して、（ ）合ぐらい （1合は180ml）

1 合未満 312人(15.6%)

1～2 合未満 813人(40.5%)

2～3 合未満 525人(26.2%)

3 合以上 280人(14.0%)

無回答 75人(3.7%)

《参考》 日本酒1合に相当する酒量（純アルコール分で約20gとなります）

ビール	中ビン1本（500ml）
ウィスキーやブランデー	ダブル1杯または水割り2杯
焼酎	0.5 合
ワイン	240 ml

問35

「節度ある適度な飲酒」としては、1日平均純アルコールで約20g程度（問34の下を表）とされています。このことを知っていましたか？ (○印は1つ)

1 知っていた 744人(37.1%)

2 知らなかった 1,233人(61.5%)

☆ 不明 28人(1.4%)

【8】 歯と口の健康について

問36

あなたは自分の歯が何本ありますか？
(永久歯は親知らずを除いて、通常28本あります) (○印は1つ)

1 まったくない 237人(4.5%)

2 1～9本 437人(8.2%)

3 10～19本 881人(16.6%)

4 20本以上 3,653人(68.8%)

☆ 不明 104人(2.0%)

問37

歯みがきはどのくらいしていますか？ (○印は1つ)

1 毎日1回 1,307人(24.6%)

2 毎日2回 2,679人(50.4%)

3 毎日3回 1,036人(19.5%)

4 とどろきみがく 120人(2.3%)

5 みがかない 46人(0.9%)

☆ 不明 124人(2.3%)

問38

間食はよくしますか？ (○印はいくつでも)

1 はい 2,901人(54.6%)

2 いいえ 2,267人(42.7%)

☆ 不明 144人(2.7%)

問39

歯や口の状態について気になることはありますか？ (○印はいくつでも)

1 気になることはない 2,085人(39.3%)

2 歯がいたい、しみる 917人(17.3%)

3 歯ぐきがいたい、はれている、出血がある 748人(14.1%)

4 噛めないものがある 743人(14.0%)

5 飲み込みにくい 166人(3.1%)

6 味が分かりにくい 126人(2.4%)

7 口がかたく 771人(14.5%)

8 口臭がある 901人(17.0%)

☆ 不明 364人(6.9%)

問40 歯の手入れや、知識などについておたずねします。該当する番号に○をつけてください。(○印は各設問に1つ)

40-1 この1年間に歯科で、検診(症状が現れる前に悪いところがないかを診てもらうこと)を受けましたか

1 はい 2,840人(53.5%)
☆ 不明 134人(2.5%)
2 いいえ 2,338人(44.0%)

40-2 この1年間に歯科で歯石除去、歯面清掃を受けましたか?

1 はい 2,778人(52.3%)
☆ 不明 151人(2.8%)
2 いいえ 2,383人(44.9%)

40-3 かかりつけの歯科医がありますか?

1 はい 4,052人(76.3%)
☆ 不明 101人(1.9%)
2 いいえ 1,159人(21.8%)

40-4 歯の治療は早めに受けるようにしていますか?

1 はい 3,441人(64.8%)
☆ 不明 157人(3.0%)
2 いいえ 1,714人(32.3%)

40-5 デンタルフロス(糸ようじ)、歯間ブラシなどの歯と歯の間を清掃する器具を使っていますか?

1 はい 2,519人(47.4%)
☆ 不明 147人(2.8%)
2 いいえ 2,646人(49.8%)

40-6 80歳になっても自分の歯を20本以上保つという「8020(ハチマルニイマル)運動」がありますが、この運動を知っていましたか?

1 はい 3,219人(60.6%)
☆ 不明 115人(2.2%)
2 いいえ 1,978人(37.2%)

40-7 お口の健康状態が全身の健康状態と関わりがあることを知っていますか?

1 はい 4,075人(76.7%)
☆ 不明 121人(2.3%)
2 いいえ 1,116人(21.0%)

【9】子育てについて

問41 小学生以下のお子さんをお持ちですか? (○印は1つ)

1 はい 747人(14.1%)
☆ 不明 251人(4.7%)
2 いいえ 4,314人(81.2%)

問42 お子さんの年齢をお尋ねします。(○印はいくつでも)

1 0歳児 103人(13.8%)
3 3歳児〜就学前 304人(40.7%)
5 小学4年生〜6年生 228人(30.5%)
2 1歳児〜2歳児 167人(22.4%)
4 小学1年生〜3年生 232人(31.1%)
☆ 不明 32人(4.3%)

問43 育児についてお尋ねします。該当する番号に○をつけてください。

43-1 ゆったりとした気分でお子さんとお過ごせる時間がありますか? (○印は1つ)

1 いつも 188人(25.2%)
3 ほとんどない 100人(13.4%)
2 時々 434人(58.1%)
☆ 不明 25人(3.3%)

43-2 育児に自信が持てないことがありますか? (○印は1つ)

1 はい 245人(32.8%)
3 何ともいえない 275人(36.8%)
2 いいえ 203人(27.2%)
☆ 不明 24人(3.2%)

43-3 育児について気軽に相談できる方が身近にいますか? (○印は1つ)

1 はい 581人(77.8%)
☆ 不明 26人(3.5%)
2 いいえ 140人(18.7%)

43-4 日常の育児の相談相手は誰ですか? (○印はいくつでも)

1 配偶者 584人(78.2%)
3 義父母 134人(17.9%)
5 友人 351人(47.0%)
7 かかりつけ医師 43人(5.8%)
9 電話相談 3人(0.4%)
11 その他 46人(6.2%)
2 実父母 383人(51.3%)
4 先生(小学校・幼稚園・保育所) 95人(12.7%)
6 近所の人 24人(3.2%)
8 保健師等 6人(0.8%)
10 インターネット 57人(7.6%)
☆ 不明 35人(4.7%)

43-5 配偶者は、育児をしていますか? (○印は1つ)

1 よくやっている 465人(62.2%)
3 ほとんどしない 57人(7.6%)
2 時々やっている 194人(26.0%)
☆ 不明 31人(4.1%)

43-6 配偶者は、お子さんとよく遊んでいますか？（○印は1つ）

- 1 よく遊んでいる 427人(57.2%)
- 2 時々遊ぶことがある 244人(32.7%)
- 3 ほとんど遊ばない 44人(5.9%)
- ☆ 不明 32人(4.3%)

問44 発達障害についてお尋ねします。該当する番号に○をつけてください。
（○印は各設問に1つ）

- 44-1 発達障害について知っていますか？
- 1 言葉、内容とも知っている 2,737人(51.5%)
- 2 言葉のみ知っている 1,761人(33.2%)
- 3 知らない 380人(7.2%)
- ☆ 不明 434人(8.2%)

- 44-2 「子どもの発達が気になった時に相談できる機関」を知っていますか？
- 1 はい 1,576人(29.7%)
- 2 いいえ 3,156人(59.4%)
- ☆ 不明 580人(10.9%)

【10】 その他の保健対策

問45 「乱用薬物」と呼ばれる薬物は、使用量によっては急性中毒のために直接死に至るとともに、薬物依存症により犯罪につながるなど大きな社会的問題を引き起こします。

これらの薬物には、覚せい剤、大麻、MDMA、ヘロイン、LSD、シンナー等があります。知っていますか？（○印は1つ）

- 1 はい 4,820人(90.7%)
- 2 いいえ 304人(5.7%)
- ☆ 不明 188人(3.5%)

問46 正確な情報と自らの判断によって行う「避妊」も大切な健康管理となります。避妊法には次のようなものがありますが、知っているものに○をつけてください。（○印はいくつでも）

- 1 コンドーム 4,818人(90.7%)
- 2 ピル（経口避妊薬） 3,974人(74.8%)
- 3 基礎体温法 2,887人(54.3%)
- 4 避妊リング(IUD) 2,254人(42.4%)
- 5 避妊ゼリーやフィルム 1,234人(23.2%)
- 6 ペッサリー 1,340人(25.2%)
- ☆ 不明 469人(8.8%)

問47 正確な避妊法の実行により、望まない妊娠を避けることができます。次の避妊方法について、正しい使い方を知っているものに○をつけてください。（○印はいくつでも）

- 1 コンドーム 4,417人(83.2%)
- 2 ピル（経口避妊薬） 2,109人(39.7%)
- 3 基礎体温法 1,774人(33.4%)
- 4 避妊リング(IUD) 779人(14.7%)
- 5 避妊ゼリーやフィルム 341人(6.4%)
- 6 ペッサリー 356人(6.7%)
- ☆ 不明 784人(14.8%)

問48 「性感染症」は性行為によって感染する病気の総称です。次の性感染症について知っているものに○をつけてください。（○印はいくつでも）

- 1 HIV感染症(エイズ) 4,595人(86.5%)
- 2 淋菌感染症 2,256人(42.5%)
- 3 尖圭コンジローム 771人(14.5%)
- 4 性器クラミジア感染症 2,846人(53.6%)
- 5 梅毒 3,634人(68.4%)
- 6 性器ヘルペスウイルス感染症 1,480人(27.9%)
- ☆ 不明 633人(11.9%)

【11】 その他

問49 健康に関する情報や知識を次のどこから得ていますか？（○印はいくつでも）

- 1 新聞・雑誌・一般書 3,250人(61.2%)
- 2 テレビ・ラジオ 3,945人(74.3%)
- 3 インターネット 2,157人(40.6%)
- 4 医学書などの専門書 507人(9.5%)
- 5 家族・友人・知人 1,762人(33.2%)
- 7 医療機関 1,441人(27.1%)
- 9 その他 39人(0.7%)
- ☆ 不明 220人(4.1%)
- 6 保健所 193人(3.6%)
- 8 職場や学校 773人(14.6%)
- 10 特にない 143人(2.7%)

問50 健康づくりや生活習慣改善について、どのような情報が欲しいですか。（○印はいくつでも）

- 1 食生活 3,457人(65.1%)
- 2 運動 2,288人(43.1%)
- 3 こころの健康 1,479人(27.8%)
- 4 たばこ 281人(5.3%)
- 5 アルコール 275人(5.2%)
- 6 歯と口の健康 1,284人(24.2%)
- 7 健康診断・がん検診 2,233人(42.0%)
- 8 その他 119人(2.2%)
- ☆ 不明 534人(10.1%)

問51 市の健康や病気の予防に対する取り組みは充実していると思いますか。（○印は1つ）

- 1 充実している 358人(6.7%)
- 2 まあまあ充実している 1,792人(33.7%)
- 3 あまり充実していない 620人(11.7%)
- 4 充実していない 158人(3.0%)
- 5 わからない 2,123人(40.0%)
- ☆ 不明 261人(4.9%)

問52 （問51で3、4と答えた方へ）
充実していないと思う理由は何だと思いますか。（○印はいくつでも）

- 1 市の取り組みについて知らない 445人(57.2%)
- 2 気軽に健康の相談をするところが少ない 282人(36.2%)
- 3 健康や病気の予防についての情報が少ない 321人(41.3%)
- 4 健康診断や保健指導が十分受けられない 219人(28.1%)
- 5 わからない 40人(5.1%)
- 6 その他 59人(7.6%)
- ☆ 不明 10人(1.3%)

最後に、あなたご自身のことについて、詳しくお尋ねします。

問53 性別：

- 1 男性 2,301人(43.3%)
- 2 女性 2,870人(54.0%)
- ☆ 不明 141人(2.7%)

問54 年齢：平成28年10月1日時点での満年齢はいくつですか？

- 10歳代 159人(3.0%)
- 20歳代 436人(8.2%)
- 30歳代 635人(12.0%)
- 40歳代 861人(16.2%)
- 50歳代 764人(14.4%)
- 60歳代 965人(18.2%)
- 70歳以上 1,329人(25.0%)
- ☆ 不明 163人(3.1%)

問55 何区にお住まいですか？

- 1 千種区 356人(6.7%)
- 2 東区 180人(3.4%)
- 3 北区 343人(6.5%)
- 4 西区 323人(6.1%)
- 5 中村区 320人(6.0%)
- 6 中区 154人(2.9%)
- 7 昭和区 252人(4.7%)
- 8 瑞穂区 259人(4.9%)
- 9 熱田区 164人(3.1%)
- 10 中川区 496人(9.3%)
- 11 港区 315人(5.9%)
- 12 南区 297人(5.6%)
- 13 守山区 403人(7.6%)
- 14 緑区 590人(11.1%)
- 15 名東区 353人(6.6%)
- 16 天白区 353人(6.6%)
- ☆ 不明 154人(2.9%)

問56 同居している左（○印はいくつでも）

- 1 なし 758人(14.3%)
- 2 配偶者 3,148人(59.3%)
- 3 子 2,137人(40.2%)
- 4 親 970人(18.3%)
- 5 祖父母 143人(2.7%)
- 6 孫 209人(3.9%)
- 7 兄弟姉妹 386人(7.3%)
- 8 その他 126人(2.4%)
- ☆ 不明 171人(3.2%)

恐縮ですが、適正体重などの算出のために、できる限り正確な身長・体重をご記入ください。

問57 身長：

()cm

問58 体重：

()kg

適正体重の算出式

身長(m)×身長(m)×22＝適正体重
例えば身長167cmの人は、
1.67(m)×1.67(m)×22＝61.4kg

問59 あなたのご職業を【 】の中から1つ選んで、○で囲んでください。

【自 営】 11 農林漁業 7人(0.1%) 12 商工サービス業 102人(1.9%)
13 自由業 106人(2.0%) 14 その他 183人(3.4%)
【常 勤】 21 事務職 445人(8.4%) 22 技術職 551人(10.4%)
23 営業や販売 313人(5.9%) 24 その他 331人(6.2%)
【臨時雇】 31 事務職 158人(3.0%) 32 技術職 164人(3.1%)
33 営業や販売 128人(2.4%)
34 その他(※パートタイマーや内職を含む) 325人(6.1%)
【無 職】 41 家事専業 1,070人(20.1%) 43 その他の学生 141人(2.7%)
42 高校生 102人(1.9%) ☆ 不明 677人(12.7%)
44 その他 509人(9.6%)

問60 現在の生活の中で、経済的なゆとりはありますか？（○印は1つ）

1 ゆとりがある 441人(8.3%) 2 ややゆとりがある 1,144人(21.5%)
3 どちらともいえない 1,467人(27.6%) 4 あまりゆとりはない 1,437人(27.1%)
5 全くゆとりがない 648人(12.2%) ☆ 不明 175人(3.3%)

問61 現在の生活の中で、時間的なゆとりはありますか？（○印は1つ）

1 ゆとりがある 1,088人(20.5%) 2 ややゆとりがある 1,387人(26.1%)
3 どちらともいえない 1,138人(21.4%) 4 あまりゆとりはない 1,219人(22.9%)
5 全くゆとりがない 305人(5.7%) ☆ 不明 175人(3.3%)

子育てに関するアンケートの集計結果

【3(4)か月児健康診査時の子育て調査】平成28年10月実施 回答者数：1,531人

問1 妊娠中、働いていましたか？

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1 妊娠判明の時点で辞めた 108人(7.1%) | 2 妊娠中働いていた 905人(59.1%) |
| 3 もともと働いていない 505人(33.0%) | 無回答 13人(0.8%) |

問2 妊娠中、マタニティマークを知っていましたか？

- | | | |
|-----------------------|--------------------|---------------|
| 1 知っていた 1,476人(96.4%) | 2 知らなかった 21人(1.4%) | 無回答 34人(2.2%) |
|-----------------------|--------------------|---------------|

マタニティマークを身に付けたりするなどして利用したことはありますか？

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1 利用したことがある 1,095人(74.2%) | 2 利用したことはない 368人(24.9%) |
| 無回答 13人(0.9%) | |

マタニティマークを利用して効果を感じたことありましたか？

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1 感じたことがある 610人(55.7%) | 2 感じたことはない 475人(43.4%) |
| 無回答 10人(0.9%) | |

問3 育児に自信が持てないことがありますか？ [○は1つ]

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 はい 392人(25.6%) | 2 いいえ 482人(31.5%) |
| 3 何ともいえない 626人(40.9%) | 無回答 31人(2.0%) |

問4 妊娠中、どのような不安や心配がありましたか？ [○は最大3つまで]

- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1 妊娠経過・分娩 1,060人(69.2%) | 2 相談相手がいらない 30人(2.0%) |
| 3 家事や育児を手伝ってくれる人がいない 143人(9.3%) | 5 漠然とした不安 362人(23.6%) |
| 4 経済的不安 275人(18.0%) | 7 その他 137人(8.9%) |
| 6 心配や不安なことは特にならない 201人(13.1%) | |

問5 現在、どのような不安や心配がありますか？ [○は最大3つまで]

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1 子どものしつけ・生活習慣 601人(39.3%) | 2 子どもの発達・発育 508人(33.2%) |
| 3 子どもの病氣・健康 585人(38.2%) | 4 自分の健康 132人(8.6%) |
| 5 相談相手がいらない 13人(0.8%) | |
| 6 家事や育児を手伝ってくれる人がいない 71人(4.6%) | |
| 7 ほかのきょうだいの育児の両立 407人(26.6%) | |
| 8 経済的不安 257人(16.8%) | 9 漠然とした不安 130人(8.5%) |
| 10 心配や不安なことは特にならない 199人(13.0%) | 11 その他 85人(5.6%) |

問6 日常の育児の相談相手は誰ですか？ [あてはまるものすべてに○]

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1 配偶者 1,360人(88.8%) | 2 実父母 1,194人(78.0%) |
| 3 義父母 384人(25.1%) | 4 近所の人 95人(6.2%) |
| 5 友人 877人(57.3%) | 6 かかりつけの医師 148人(9.7%) |
| 7 保健師や助産師 73人(4.8%) | 8 保育士や幼稚園の先生 157人(10.3%) |
| 9 電話相談 22人(1.4%) | 10 インターネット 250人(16.3%) |
| 11 誰もいない 3人(0.2%) | 12 その他 140人(9.1%) |

問7 妊娠中、どのような支援や相談手段が役に立ちましたか？また、現在役立っていますか？それぞれにあてはまるものを3つまで選んで番号を記入してください。

- | | 【妊娠中】 | 【現在】 |
|-----------------------|-------------|-------------|
| 1 保健所の教室や相談 | 148人(9.7%) | 92人(6.0%) |
| 2 子ども・子育て支援センターの教室や相談 | 28人(1.8%) | 87人(5.7%) |
| 3 地域の子育て支援センターの教室や相談 | 38人(2.5%) | 70人(4.6%) |
| 4 子育てサロンや子育てサークル | 22人(1.4%) | 122人(8.0%) |
| 5 保育園や幼稚園の相談 | 79人(5.2%) | 134人(8.8%) |
| 6 医療機関の健診や相談、教室 | 701人(45.8%) | 515人(33.6%) |
| 7 民間企業の教室や相談 | 18人(1.2%) | 16人(1.0%) |
| 8 保健師などの家庭訪問 | 14人(0.9%) | 467人(30.5%) |
| 9 子育て総合相談窓口 | 4人(0.3%) | 16人(1.0%) |
| 10 子どもあしん電話相談 | 4人(0.3%) | 43人(2.8%) |
| 11 インターネット | 833人(54.4%) | 727人(47.5%) |
| 12 特にない | 242人(15.8%) | 206人(13.5%) |

問8 妊娠中、どのような支援や環境、相談手段があればよいと思いますか？また、現在あればよいと思いますか？それぞれにあてはまるものを3つまで選んで番号を記入してください。

- | | 【妊娠中】 | 【現在】 |
|----------------------------|-------------|-------------|
| 1 配偶者と共に参加できる土日開催の教室 | 404人(26.4%) | 256人(16.7%) |
| 2 家族(配偶者以外)と共に参加できる土日開催の教室 | 111人(7.3%) | 83人(5.4%) |
| 3 いつでもすぐに対応してもらえる相談機関 | 259人(16.9%) | 385人(25.1%) |
| 4 メールによる相談 | 110人(7.2%) | 131人(8.6%) |
| 5 出産・育児に関する正確な情報 | 562人(36.7%) | 455人(29.7%) |
| 6 保育環境 | 53人(3.5%) | 255人(16.7%) |
| 7 気軽に仲間と交流できる場 | 226人(14.8%) | 413人(27.0%) |
| 8 配偶者の理解や対応 | 242人(15.8%) | 283人(18.5%) |
| 9 職場の理解や対応 | 265人(17.3%) | 119人(7.8%) |
| 10 友人・知人の理解や対応 | 47人(3.1%) | 57人(3.7%) |
| 11 周囲の人の配慮 | 188人(12.3%) | 102人(6.7%) |
| 12 個別相談 | 43人(2.8%) | 75人(4.9%) |
| 13 特にない | 204人(13.3%) | 184人(12.0%) |

問9 情報や知識をどこから得ていますか？〔あてはまるものすべてに○〕

	〔妊娠中〕	〔現在〕
親族(親・きょうだいなど)	1,163人(76.0%)	1,188人(77.6%)
知人、友人など	1,155人(75.4%)	1,200人(78.4%)
子育てに関するサークルなどの仲間	71人(4.6%)	154人(10.1%)
区役所や保健所などの市の機関	281人(18.4%)	376人(24.6%)
幼稚園・保育園	191人(12.5%)	292人(19.1%)
学校	18人(1.2%)	25人(1.6%)
病院・診療所などの医療機関	808人(52.8%)	669人(43.7%)
地域子育て支援センター	41人(2.7%)	125人(8.2%)
市のパンフレット	115人(7.5%)	143人(9.3%)
広報など	292人(19.1%)	540人(35.3%)
テレビ、ラジオ、新聞などのメディア	387人(25.3%)	423人(27.6%)
その他の情報誌	264人(17.2%)	235人(15.3%)
インターネット	1,219人(79.6%)	1,230人(80.3%)
名古屋ホームページ	77人(5.0%)	99人(6.5%)
子ども・子育て支援センターホームページ	43人(2.8%)	88人(5.7%)
情報は特に入手していない	14人(0.9%)	15人(1.0%)

問10 「乳幼児突然死症候群 (SIDS)」を知っていますか？

「乳幼児突然死症候群(SIDS)」とは、それまで元気で育っていた赤ちゃんが、ある日突然死亡する病気で、日本ではおよそ6,000～7,000人に1人の赤ちゃんがこの病気でなくなっていると推定されている。

1 知らない 152人(9.9%) 2 知っている 1,353人(88.4%) 無回答 26人(1.7%)

問11 お子さんを寝かせ始める時は、どのように寝かせていますか？〔○は1つ〕

1 あおむけ寝 1,404人(91.7%) 2 うつぶせ寝 9人(0.6%)
3 決めていない 61人(4.0%) 4 その他 21人(1.4%)
無回答 36人(2.4%)

問12 心肺蘇生法 (胸骨圧迫などの応急処置) を知っていますか？〔○は1つ〕

1 知っている 265人(17.3%) 2 少し知っている 713人(46.6%)
3 知らない 528人(34.5%) 無回答 25人(1.6%)

問13 子どもに対して、心肺蘇生法が適切にできると思っていますか？

1 はい 139人(9.1%) 2 いいえ 1,348人(88.0%) 無回答 44人(2.9%)

問14 『子どもの発達が気になった時に相談できる機関』を知っていますか？

「子どもの発達が気になった時に相談できる機関」は
地域療育センター、りんくす名古屋(発達障害者支援センター)、保健所 などがあります。

1 知っている 656人(42.8%) 2 知らない 846人(55.3%) 無回答 29人(1.9%)

[1歳6か月児健康診査時の子育て調査 平成28年10月実施 回答者数：1,509人]

問1 現在、働いていますか？

1 働いている 607人(40.2%) 2 働いていない 891人(59.0%) 無回答 11人(0.7%)

問2 育児に自信が持てないことがありますか？〔○は1つ〕

1 はい 403人(26.7%) 2 いいえ 469人(31.1%)
3 何ともいえない 615人(40.8%) 無回答 22人(1.5%)

問3 現在、どのような不安や心配がありますか？〔○は最大3つまで〕

1 子どものしつけ・生活習慣 859人(56.9%) 2 子どもの発達・発育 316人(20.9%)
3 子どもの病気・健康 276人(18.3%) 4 自分の健康 151人(10.0%)
5 相談相手がいらない 18人(1.2%)
6 家事や育児を手伝ってくれる人がいない 72人(4.8%)
7 ほかのきょうだいの育児の両立 289人(19.2%)
8 経済的不安 209人(13.9%) 9 漠然とした不安 120人(8.0%)
10 心配や不安なことは特にならない 261人(17.3%) 11 その他 63人(4.2%)

問4 日常の育児の相談相手は誰ですか？〔あてはまるものすべてに○〕

1 配偶者 1,267人(84.0%) 2 実父母 1,085人(71.9%)
3 義父母 316人(20.9%) 4 近所の人 124人(8.2%)
5 友人 831人(55.1%) 6 かかりつけの医師 118人(7.8%)
7 保健師や助産師 27人(1.8%) 8 保育士や幼稚園の先生 318人(21.1%)
9 電話相談 14人(0.9%) 10 インターネット 157人(10.4%)
11 誰もいない 14人(0.9%) 12 その他 122人(8.1%)

問5 妊娠中、どのような支援や相談手段が役に立ちましたか？また、現在役立っていますか？それぞれにあてはまるものを3つまで選んで番号を記入してください。

	〔妊娠中〕	〔現在〕
1 保健所の教室や相談	259人(17.2%)	153人(10.1%)
2 子ども・子育て支援センターの教室や相談	37人 (2.5%)	201人(13.3%)
3 地域の子育て支援センターの教室や相談	61人(4.0%)	206人(13.7%)
4 子育てサロンや子育てサークル	31人(2.1%)	284人(18.8%)
5 保育園や幼稚園の相談	45人(3.0%)	354人(23.5%)
6 医療機関の健診や相談、教室	631人(41.8%)	366人(24.3%)
7 民間企業の教室や相談	20人(1.3%)	24人(1.6%)
8 保健師などの家庭訪問	46人(3.0%)	107人(7.1%)
9 子育て総合相談窓口	2人(0.1%)	16人(1.1%)
10 子どもあしん電話相談	4人(0.3%)	88人(5.8%)
11 インターネット	799人(52.9%)	618人(41.0%)
12 特になし	256人(17.0%)	242人(16.0%)

問6 妊娠中、どのような支援や環境、相談手段があればよいと思いますか？また、現在あればよいと思いますか？それぞれにあってはまるものを3つまで選んで番号を記入してください。

	[妊娠中]	[現在]
1 配偶者と共に参加できる土日開催の教室	405人(26.8%)	195人(12.9%)
2 家族(配偶者以外)と共に参加できる土日開催の教室	98人(6.5%)	69人(4.6%)
3 いつでもすぐに対応してもらえる相談機関	301人(19.9%)	377人(25.0%)
4 メールによる相談	89人(5.9%)	131人(8.7%)
5 出産・育児に関する正確な情報	575人(38.1%)	344人(22.8%)
6 保育環境	56人(3.7%)	330人(21.9%)
7 気軽に仲間と交流できる場	247人(16.4%)	389人(25.8%)
8 配偶者の理解や対応	218人(14.4%)	303人(20.1%)
9 職場の理解や対応	287人(19.0%)	263人(17.4%)
10 友人・知人の理解や対応	35人(2.3%)	60人(4.0%)
11 周囲の人の配慮	184人(12.2%)	146人(9.7%)
12 個別相談	47人(3.1%)	74人(4.9%)
13 特になし	183人(12.1%)	194人(12.9%)

問7 情報や知識をどこから得ていますか？〔あてはまるものすべてに○〕

	[妊娠中]	[現在]
親族(親・きょうだいなど)	1,107人(73.4%)	1,115人(73.9%)
知人、友人など	1,093人(72.4%)	1,194人(79.1%)
子育てに関するサークルなどの仲間	102人(6.8%)	342人(22.7%)
区役所や保健所などの市の機関	291人(19.3%)	312人(20.7%)
幼稚園・保育園	137人(9.1%)	701人(46.5%)
学校	27人(1.8%)	62人(4.1%)
病院・診療所などの医療機関	703人(46.6%)	599人(39.7%)
地域子育て支援センター	74人(4.9%)	309人(20.5%)
市のパンフレット	151人(10.0%)	184人(12.2%)
広報なごや	365人(24.2%)	696人(46.1%)
テレビ、ラジオ、新聞などのメディア	442人(29.3%)	519人(34.4%)
その他の情報誌	294人(19.5%)	229人(15.2%)
インターネット	1,106人(73.3%)	1,155人(76.5%)
名古屋ホームページ	53人(3.5%)	95人(6.3%)
子ども・子育て支援センターホームページ	52人(3.4%)	130人(8.6%)
情報は特に入手していない	15人(1.0%)	18人(1.2%)

問8 心肺蘇生法（胸骨圧迫などの応急処置）を知っていますか？〔○は1つ〕

1 知っている	305人(20.2%)	2 少し知っている	730人(48.4%)
3 知らない	444人(29.4%)	無回答	30人(2.0%)

問9 子どもに対して、心肺蘇生法が適切にできると思いますか？

1 はい	160人(10.6%)	2 いいえ	1,302人(86.3%)	無回答	47人(3.1%)
------	-------------	-------	---------------	-----	-----------

問10 名古屋市の保健所で3か月児健康診査を受けた時の状況はいかがでしたか？

1 とても満足している	110人(7.3%)	2 満足している	1,104人(73.2%)
3 満足していない	134人(8.9%)	4 全く満足していない	13人(0.9%)
5 受診していない	7人(0.5%)	6 他市町村で受診	85人(5.6%)
無回答	56人(3.7%)		

問11 3か月児健康診査を受けた感想はいかがでしたか？〔あてはまるものすべてに○〕

1 信頼ができて安心できた	370人(24.5%)
2 医師や保健師の話が勉強になった	326人(21.6%)
3 栄養士の話がためになった	288人(19.1%)
4 歯科衛生士の話がためになった	144人(9.5%)
5 もっとゆとりがかった時間が欲しかった	178人(11.8%)
6 個別の相談がしたかった	64人(4.2%)
7 決まりだから受けた	390人(25.8%)
8 知っていたことばかり教えられた	45人(3.0%)
9 形式的だった	283人(18.8%)
10 友達ができて良かった	37人(2.5%)
11 その他	198人(13.1%)

問12 『子どもの発達に気がなった時に相談できる機関』を知っていますか？

『子どもの発達に気がなった時に相談できる機関』は
地域療育センター、りんくす名古屋(発達障害者支援センター)、保健所 などがあります。

1 知っている	524人(34.7%)	2 知らない	947人(62.8%)	無回答	38人(2.5%)
---------	-------------	--------	-------------	-----	-----------

問13 発達障害について知っていますか？

1 知っている	740人(49.0%)	2 言葉だけは知っている	698人(46.3%)
3 知らない	38人(2.5%)	無回答	33人(2.2%)

[3歳児健康診査時の子育て調査 平成28年10月実施 回答者数：1,550人]

問1 現在、働いていますか？

1 働いている 758人(48.9%) 2 働いていない 768人(49.5%) 無回答 24人(1.5%)

問2 育児に自信が持てないことがありますか？ [○は1つ]

1 はい 425人(27.4%) 2 いいえ 485人(31.3%)
3 何ともいえない 604人(39.0%) 無回答 36人(2.3%)

問3 現在、どのような不安や心配がありますか？ [○は最大3つまで]

1 子どものしつけ・生活習慣 935人(60.3%) 2 子どもの発達・発育 291人(18.8%)
3 子どもの病気・健康 234人(15.1%) 4 自分の健康 130人(8.4%)
5 相談相手がない 14人(0.9%)
6 家事や育児を手伝ってくれる人がいない 81人(5.2%)
7 ほかのきょうだいの育児の両立 324人(20.9%)
8 経済的不安 231人(14.9%) 9 漠然とした不安 105人(6.8%)
10 心配や不安なことは特にない 232人(15.0%) 11 その他 66人(4.3%)

問4 日常の育児の相談相手は誰ですか？ [あてはまるものすべてに○]

1 配偶者無回答 1,264人(81.5%) 2 実父母 1,027人(66.3%)
3 義父母 330人(21.3%) 4 近所の人 99人(6.4%)
5 友人 865人(55.8%) 6 かかりつけの医師 86人(5.5%)
7 保健師や助産師 15人(1.0%) 8 保育士や幼稚園の先生 477人(30.8%)
9 電話相談 4人(0.3%) 10 インターネット 105人(6.8%)
11 誰もいない 13人(0.8%) 12 その他 133人(8.6%)

問5 妊娠中、どのような支援や相談手段が役に立ちましたか？また、現在役立っていますか？それぞれにあてはまるものを3つまで選んで番号を記入してください。

	[妊娠中]	[現在]
1 保健所の教室や相談	305人(19.7%)	128人(8.3%)
2 子ども・子育て支援センターの教室や相談	35人 (2.3%)	180人(11.6%)
3 地域の子育て支援センターの教室や相談	79人 (5.1%)	167人(10.8%)
4 子育てサロンや子育てサークル	52人 (3.4%)	241人(15.5%)
5 保育園や幼稚園の相談	65人 (4.2%)	534人(34.5%)
6 医療機関の健診や相談、教室	602人(38.8%)	300人(19.4%)
7 民間企業の教室や相談	16人 (1.0%)	33人 (2.1%)
8 保健師などの家庭訪問	44人 (2.8%)	85人 (5.5%)
9 子育て総合相談窓口	8人 (0.5%)	18人 (1.2%)
10 子どもあしん電話相談	4人 (0.3%)	60人 (3.9%)
11 インターネット	715人(46.1%)	594人(38.3%)
12 特にない	253人(16.3%)	272人(17.5%)

問6 妊娠中、どのような支援や環境、相談手段があればよいと思いませんか？また、現在あればよいと思いますか？それぞれにあてはまるものを3つまで選んで番号を記入してください。

	[妊娠中]	[現在]
1 配偶者と共に参加できる土日開催の教室	375人(24.2%)	116人(7.5%)
2 家族(配偶者以外)と共に参加できる土日開催の教室	106人(6.8%)	76人(4.9%)
3 いつでもすぐに対応してもらえる相談機関	349人(22.5%)	412人(26.6%)
4 メールによる相談	94人(6.1%)	112人(7.2%)
5 出産・育児に関する正確な情報	559人(36.1%)	268人(17.3%)
6 保育環境	59人 (3.8%)	356人(23.0%)
7 気軽に仲間と交流できる場	257人(16.6%)	383人(24.7%)
8 配偶者の理解や対応	237人(15.3%)	334人(21.5%)
9 職場の理解や対応	273人(17.6%)	284人(18.3%)
10 友人・知人の理解や対応	51人 (3.3%)	108人(7.0%)
11 周囲の人の配慮	139人(9.0%)	121人(7.8%)
12 個別相談	53人(3.4%)	95人(6.1%)
13 特にない	172人(11.1%)	201人(13.0%)

問7 情報や知識をどこから得ていますか？ [あてはまるものすべてに○]

	[妊娠中]	[現在]
親族(親・きょうだいなど)	1,069人(69.0%)	1,043人(67.3%)
知人、友人など	1,093人(70.5%)	1,238人(79.9%)
子育てに関するサークルなどの仲間	113人(7.3%)	278人(17.9%)
区役所や保健所などの市の機関	358人(23.1%)	278人(17.9%)
幼稚園・保育園	150人(9.7%)	952人(61.4%)
学校	31人(2.0%)	140人(9.0%)
病院・診療所などの医療機関	694人(44.8%)	553人(35.7%)
地域子育て支援センター	69人(4.5%)	216人(13.9%)
市のパンフレット	149人(9.6%)	178人(11.5%)
広報など	375人(24.2%)	669人(43.2%)
テレビ、ラジオ、新聞などのメディア	449人(29.0%)	502人(32.4%)
その他の情報誌	280人(18.1%)	223人(14.4%)
インターネット	1,109人(71.5%)	1,157人(74.6%)
名古屋ホームページ	69人(4.5%)	117人(7.5%)
子ども・子育て支援センターホームページ	55人(3.5%)	106人(6.8%)
情報は特に入手していない	22人(1.4%)	22人(1.4%)

問8 心肺蘇生法(胸骨圧迫などの応急処置)を知っていますか？ [○は1つ]

1 知っている 296人(19.1%) 2 少し知っている 788人(50.8%)
3 知らない 421人(27.2%) 無回答 45人(2.9%)

問9 子どもに対して、心肺蘇生法が適切にできると思いますか？

1 はい 187人(12.1%) 2 いいえ 1,300人(83.9%) 無回答 63人(4.1%)

問10 名古屋市の保健所で1歳6か月児健康診査を受けた時の状況はいかがでしたか？

1 とても満足している 78人(5.0%) 2 満足している 1,114人(71.9%)
3 満足していない 186人(12.0%) 4 全く満足していない 14人(0.9%)
5 受診していない 7人(0.5%) 6 他市町村で受診 80人(5.2%)
無回答 71人(4.6%)

問11 1歳6か月児健康診査を受けた感想はいかがでしたか？

〔あてはまるものすべてに○〕

1 信頼がおけて安心できた 334人(21.5%)
2 医師や保健師の話が勉強になった 272人(17.5%)
3 栄養士の話がためになった 192人(12.4%)
4 歯科衛生士の話がためになった 172人(11.1%)
5 もっとゆっくりした時間が欲しかった 144人(9.3%)
6 個別の相談がしたかった 63人(4.1%)
7 決まりだから受けた 458人(29.5%)
8 知っていることばかり教えられた 89人(5.7%)
9 形式的だった 307人(19.8%)
10 友達ができて良かった 15人(1.0%)
11 その他 236人(15.2%)

問12 『子どもの発達が気になった時に相談できる機関』を知っていますか？

『子どもの発達が気になった時に相談できる機関』は
地域療育センター、りんくす名古屋(発達障害者支援センター)、保健所 などがあります。

1 知っている 633人(40.8%) 2 知らない 864人(55.7%) 無回答 53人(3.4%)

問13 発達障害について知っていますか？

1 知っている 804人(51.9%) 2 言葉だけは知っている 669人(43.2%)
3 知らない 30人(1.9%) 無回答 47人(3.0%)

健やか親子21 アンケート（抜粋）

〔3(4)か月児健康診査時 平成28年7～12月実施 回答者数：8,938人〕

○ 妊娠中、あなた（お母さん）は喫煙をしていましたか。

いいえ 8,552人(95.7%) はい 220人(2.5%) 無回答 166人(1.9%)

○ 妊娠中、あなた（お母さん）は飲酒をしていましたか。

いいえ 8,653人(96.8%) はい 115人(1.3%) 無回答 170人(1.9%)

○ お子さんのお父さんは、育児をしていますか。

よくやっている 5,014人(47.5%) 時々やっている 4,717人(44.7%)
ほとんどしない 387人(3.7%) 何ともいえない 169人(1.6%)
無回答 267人(2.5%)

〔1歳6か月児健康診査時 平成28年7～12月実施 回答者数：8,795人〕

○ お子さんのお父さんは、育児をしていますか。

よくやっている 4,717人(53.6%) 時々やっている 3,080人(35.0%)
ほとんどしない 517人(5.9%) 何ともいえない 156人(1.8%)
無回答 325人(3.7%)

○ 浴室のドアには、子どもが一人で開けることができないような工夫がしてありますか。

はい 2,912人(34.8%) いいえ 5,267人(63.0%) 該当しない (439人)
無回答 177人(2.1%)

〔3歳児健康診査時 平成28年7～12月実施 回答者数：8,547人〕

○ お子さんのお父さんは、育児をしていますか。

よくやっている 4,225人(49.4%) 時々やっている 3,185人(37.3%)
ほとんどしない 579人(6.8%) 何ともいえない 201人(2.4%)
無回答 357人(4.2%)

健康なごやプラン 21

(第2次) ー中間評価ー

編集・発行 名古屋市健康福祉局
郵便 460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
TEL 052-972-2637 FAX 052-972-4152
平成 30 年 3 月

このパンフレットは再生紙（古紙パルプを含む）を使用しています。